



コミュニティと協働した 予防啓発と検査相談

～ 個別施策層・H I V 陽性者への理解を深める～

2025年9月 ON-LINE

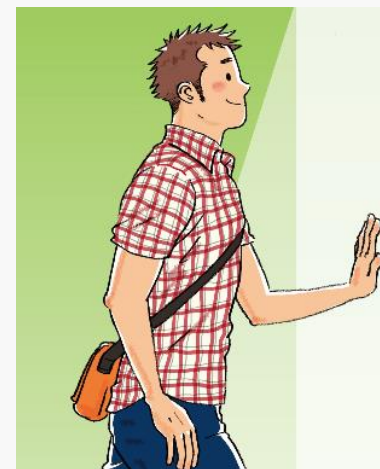
塩野徳史(大阪青山大学看護学部看護学科/MASH大阪)



MASH大阪 の活動紹介

MASH大阪では

商業施設を利用するMSMの間で
セクシュアル・ヘルスを増進させることが
MASH大阪のミッション



そのためには、ソーシャル・ネットワークを活かして自分たちの
コミュニティに予防規範を定着させることが重要だ考えている

当事者は様々な職種や立場の人々と、自分たち自身のコミュニテ
ィに対するミッションを共有する過程で、HIVをめぐる健康課題
に向き合い続けること

現在、MASH大阪は当事者を中心としたミーティングやアウトリー
チを通じて、コミュニティセンター運営や検査事業など様々なプ
ログラムを展開し、その評価を行っている



TEL : 06-6361-9300

コミュニティセンターの意義

当事者が集う「場」としてのコミュニティセンター

東京や大阪、名古屋の大都市圏に展開しているコミュニティセンターの月間利用者数は平均約250～800人（2017年時点）であり、週4日間オープンしている。また沖縄や仙台の地方都市でも月平均140～150人の利用者がいる。利用者数はほとんどがゲイ・バイセクシュアル男性であり、これまでHIVや性感染症の情報に無関心だった人をより多く呼び込む工夫が各地域で実施されている。MSMを対象にHIVを含む性感染症の情報提供や勉強会が1年を通じて実施され、またコミュニティのニーズが肌感覚を通して吸収され、新たな啓発プログラムの開発や展開に活かされている。この情報の循環により、コミュニティにおいて、エイズをめぐる様々な課題を可視化させつつ、予防やケアへの支援環境の構築を進めている。

予防啓発活動の「拠点」としてのコミュニティセンター

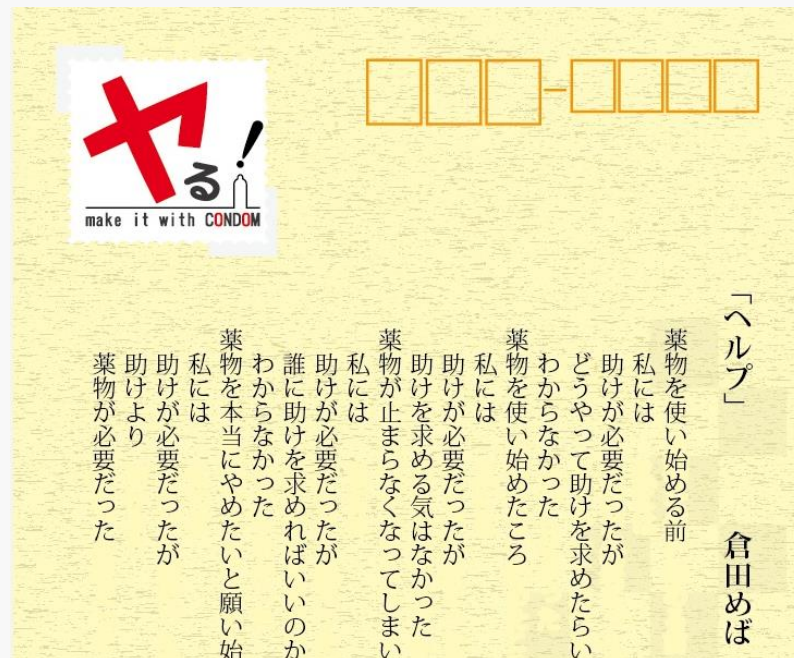
コミュニティセンターは予防活動の「拠点」であり、MSMを対象とした予防啓発事業のベース基地となっている。ゲイ向け商業施設利用者を対象としたアウトリーチとして東京では毎月4,000個のコンドームや毎月5,000部のコミュニティペーパーを制作・配布している。また、大阪でもコミュニティペーパー「南界堂通信」を平均4,000部制作し、約150店舗の商業施設に配布している。他地域においても地域の特色に合わせた同様の活動が実施されている。その結果、首都圏在住MSMでHIV抗体検査受検割合が上昇（25.1%→47.3%）、近畿地域在住MSMでもコンドーム常用割合が上昇（32.1%→42.2%）したことが報告されている。それぞれ啓発資材との関連が示され、今後他地域においても同様の成果が期待される。

連携の「ハブ」としてのコミュニティセンター

予防活動の「拠点」であると同時に、コミュニティセンターは、コミュニティに向けたインターフェイスであり、研究者や行政関係者、医療・支援関係者との連携における「ハブ」となり、協働を促進している。

コミュニティセンターの存在は大阪の屋外大規模啓発イベント「PLuS+」をはじめ、名古屋のセクシュアル・マイノリティ向け啓発イベント「NLGR+」など各地域でコミュニティ内のイベントやコミュニティのキーパーソンとの共同事業を円滑に進めてきた。そして、そこに関わる行政関係者や医療・支援関係者と当事者の間で、MSMのセクシュアルヘルスについて考える場を創出し、男性同性愛者等が利用する商業施設と連携した啓発普及を促進する役割を果たしている。

やる! プロジェクト



アウトリーチとは

- アウトリーチ活動とは当事者のボランティアによって、ゲイ向け商業施設に直接啓発資材などを届ける活動。
- 大阪では2002年に本格的に開始された。
- アウトリーチ活動の本質は商業施設とMASH大阪との信頼関係を基盤として展開されるネットワークを作り続けること。

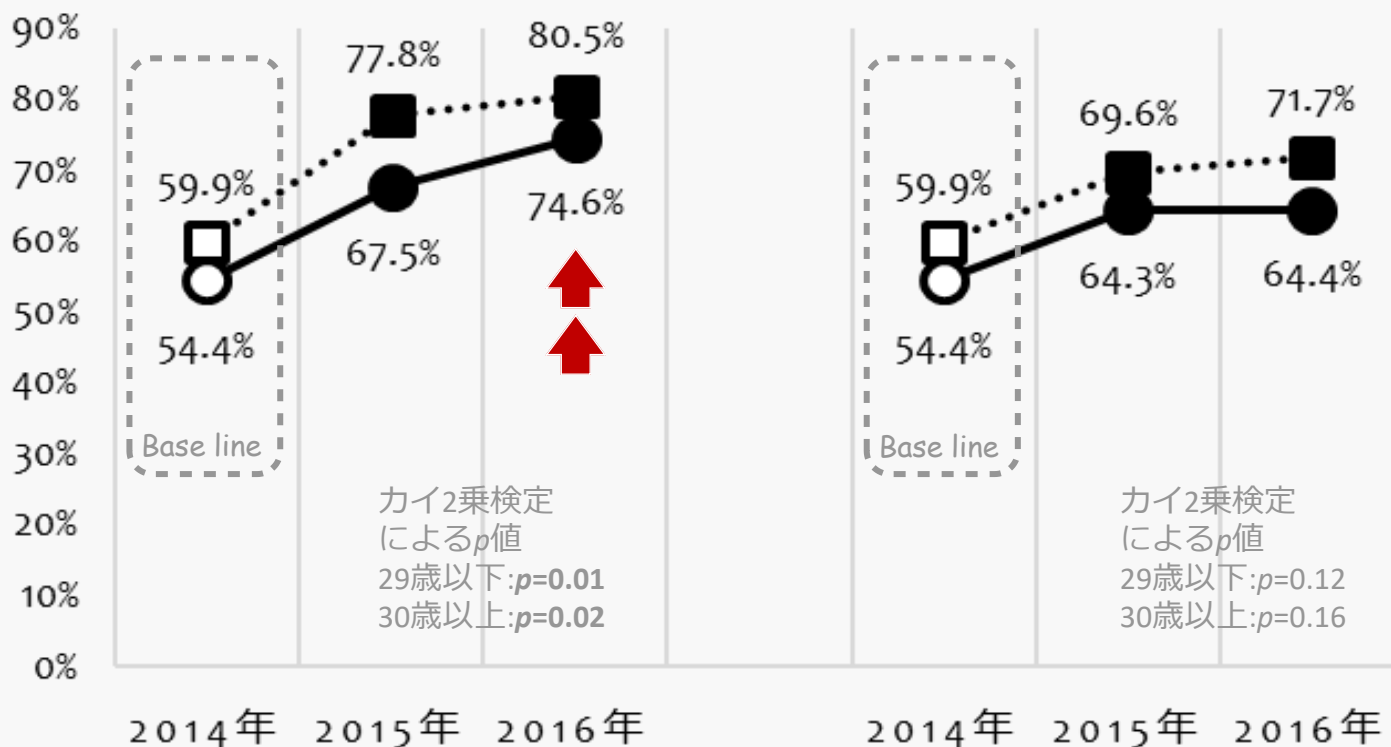


ボランティアへのオリエンテーション

- ① 自分の活動する団体(資材)が、どんな事を、どんな目的でやっているのかを説明し、理解してもらう。
- ② アウトリーチ活動や趣旨や意味づけを理解してもらう。
- ③ アウトリーチの具体的な流れについて説明する。
- ④ 参加してもらう上での決まり事(守秘義務)の説明をする。
- ⑤ ボランティア保険の説明をし、登録してもらう。
- ⑥ アウトリーチ活動に必要な知識や他のプログラムの情報について説明し、勉強会などへの参加を促す。
- ⑦ 他のプロジェクトを紹介し、活動の幅を広げる機会を提供する。

CONDOM USE IN LAST ANAL SEX AND AWARENESS OF CAMPAIGN

—●— 29歳以下 ..■.. 30歳以上

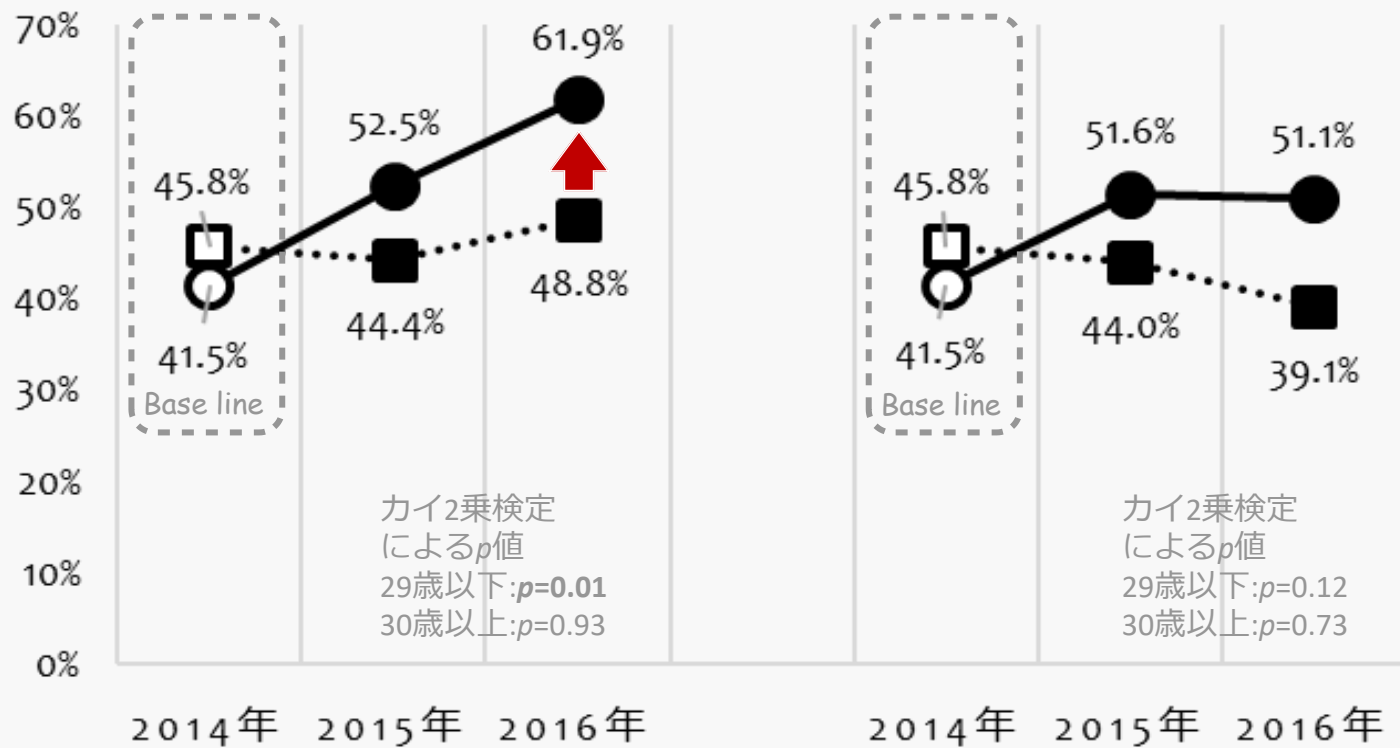


介入認知群

介入非認知群

HIV TESTING RATE IN THE PAST YEAR

● 29歳以下 ■ 30歳以上



介入認知群

介入非認知群

本報告は、厚生労働省エイズ対策政策研究事業「男性同性間のHIV感染予防対策とその介入効果の評価に関する研究(研究代表者 市川誠一)」の一環として実施した成果の一部である。

コミュニティセンターの課題

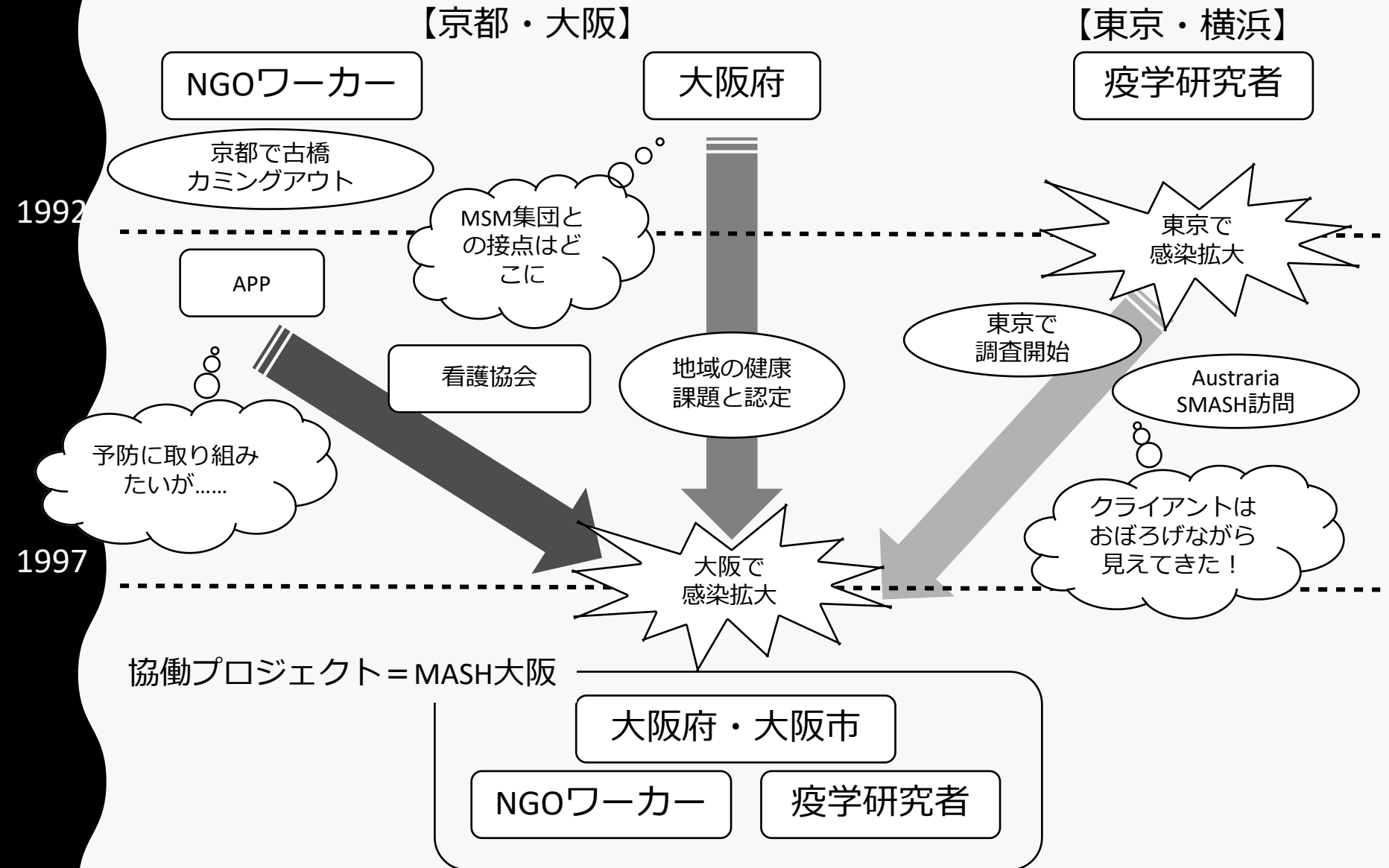
- 「場」、「拠点」、「ハブ」の3つの役割と意義を有しているコミュニティセンターが、その機能を継続し、さらに効果的な啓発を進めていくためには、それを**支える経済的・人的資源が圧倒的に不足**している。1990年代後半に男性同性間のHIV/AIDS対策に成功したオーストラリアでは、コミュニティ向けの予防啓発活動に携わるスタッフは100人以上雇用されており、国や州政府の予算が投入されている。日本でも国の対策のもと6地域でコミュニティセンターが運営されているが、全国で10人程度のスタッフの雇用であり、**予防活動のほとんどは無償のボランティアスタッフに依存**している。
- コミュニティセンターの認知が広がるに従い、来場者の中には**メンタルヘルスや外国籍、様々な依存症に関する複合的・多層的な課題を抱えている人も増加**してきており、相談やサポート等の対応が必要となっている。
- 地方ではコミュニティセンターの活動は十分に浸透しておらず、そのため**都市部と比べ情報格差がある**と言われている。**都市部でも地方でも予防啓発活動の基盤は脆弱**であり、コミュニティにおける予防規範が成熟しているとは言えない。
- コミュニティセンターが事業化され、効果評価を担う研究事業との連携がとりにくくなったことで、**作業の重複が多く非効率であり、ミッションとのズレが生じてきても、独自で修正できない可能性もあり、やはり基盤は脆弱**である。



どのように対策
を行ってきたか？

どのように対策を行ってきたか？

協働の始まり-3つのセクターはどう出会ったか？-



SWITCH 2000-2002

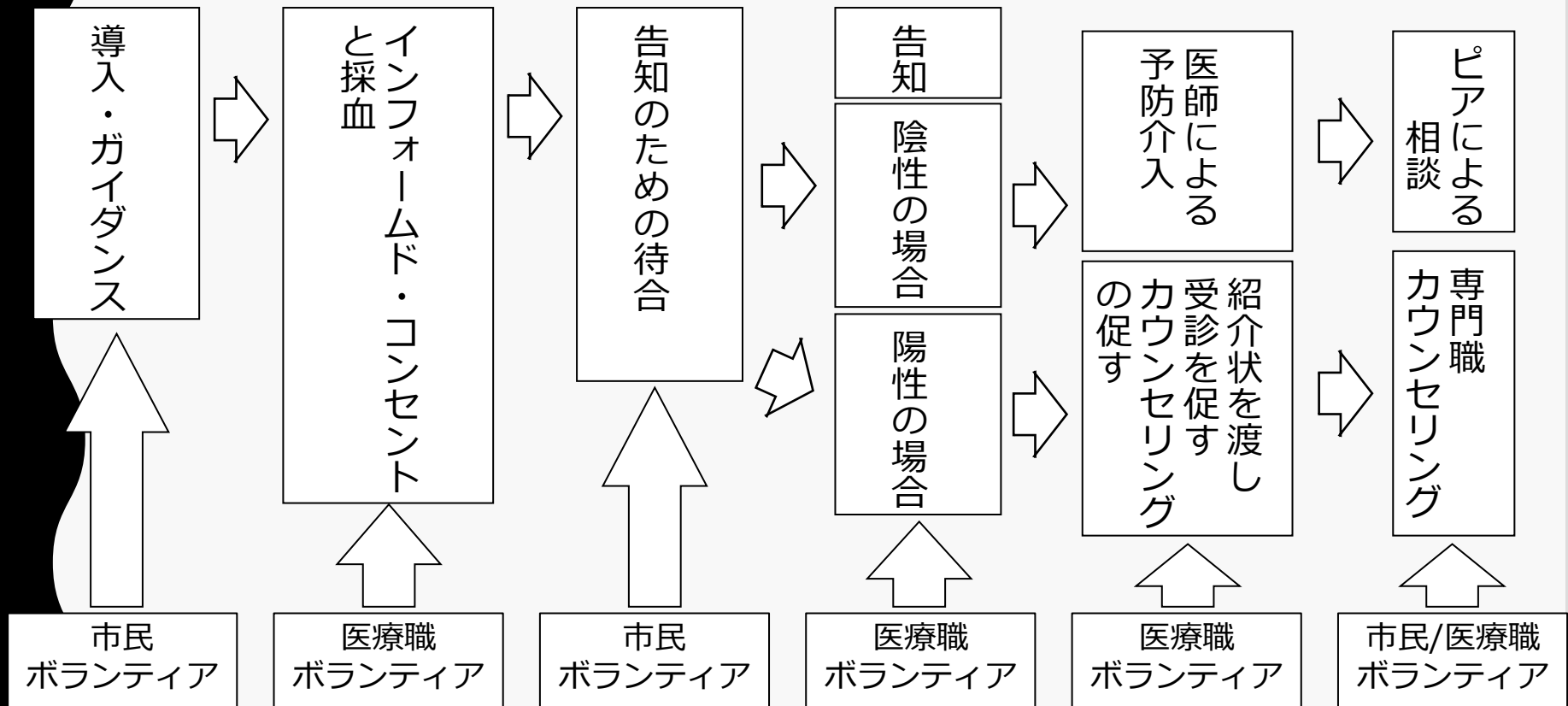
クライアント : 大阪府在住のMSM

目的 : MSMやゲイバイセクシュアル男性を意識した結果翌日返しを含んだデザイン。モデル的な検査環境を提供し、MSM間の受検のニーズを掘り起こす。

方法 :

1. 検査項目 : HIV・HBV・梅毒
2. ゴールデンウィーク内に完結・翌日返し
3. 徹底的にクライアント目線で検査の流れをつくる
4. 陰性者にも予防介入に必要な情報を
5. MSM向けの検査イベントと位置づけ
6. ゲイコミュニティのイベントにくるんで提供

SWITCH 2000-2002



血液検査 = 大阪府万代診療所/大阪府立公衆衛生研究所

場の設定 = 大阪市担当官 + クリニック

臨時検査イベントのデザイン = 疫学研究者 + 医療職ボランティア + NPOワーカー

イベント全体のデザイン = 当事者を含むNGOワーカー

SWITCH

2000-2002

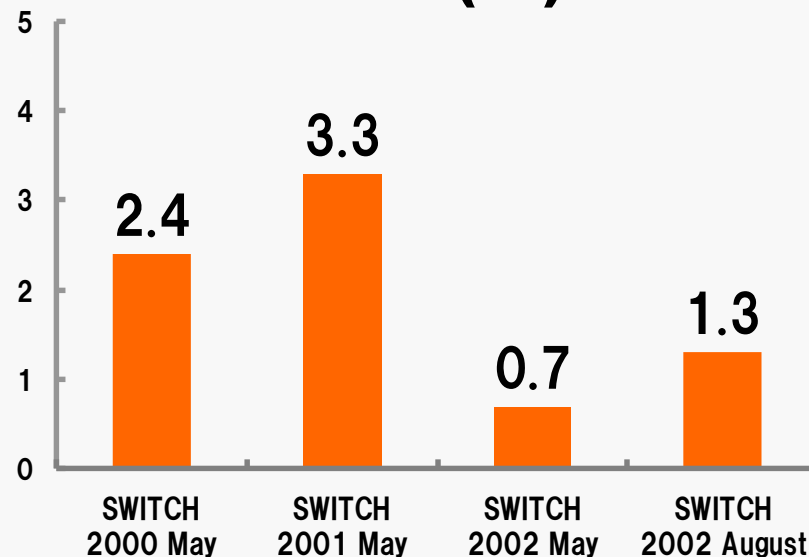
OUTCOME

1. セクター間連携による臨時検査イベントのモデルを構築した
2. 大阪在住MSMにおける受検率を押し上げた
3. ゲイコミュニティからの信頼を得た
4. クライアントにおけるHIV/STI感染の状況を知りえた

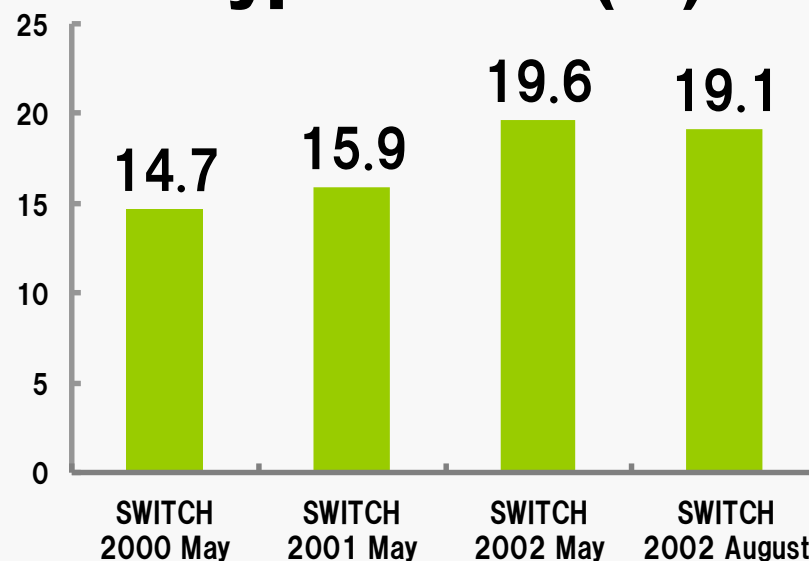


👉 SWITCHのコンセプトを発展させ野外でより大規模に行ったイベント『PLuS+』2010

HIV(%)



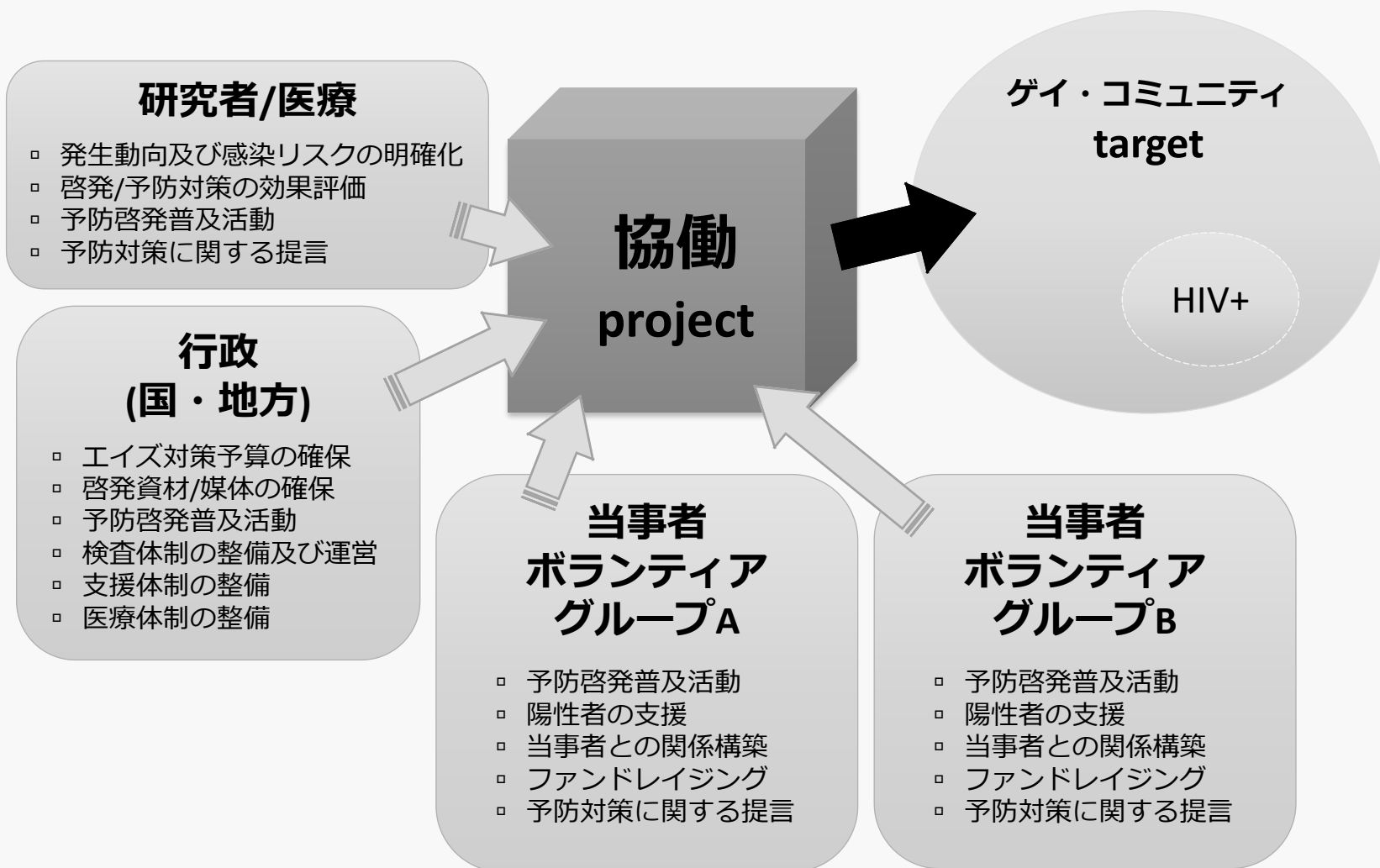
Syphilis TPHA(%)



MSM向けのHIV感染対策

(1997年-2010年)

-行政、研究者、当事者ボランティアによる専門性の連携-



Six community centers and 9 CBOs are collaborating to promote awareness of HIV prevention among MSM in Japan...



Gay men living in rural areas are hard to open sexuality. They come to urban areas by finding employment or entering university. There are also many gay men going on a trip to Okinawa. Japanese gay men are connected by gay tourism. So there is regionality, but the norm of one region will also affect other regions.



予防対策に 必要な基礎知識

ゲイ・バイセクシュアル男性やセックスについて

MSMとは何か?

LGBTとは違うのか?

- MSM = Men who have sex with men 男性とセックスをする男性
- LGBT：女性同性愛者（レズビアン、Lesbian）、男性同性愛者（ゲイ、Gay）、両性愛者（バイセクシュアル、Bisexual）、トランスジェンダー（Transgender）の各単語の頭文字を組み合わせた表現。

性的指向：好きになる相手あるいはセックスする相手の性別は「異性」だけではない。

性自認（心の性別）：生まれついた身体の性別にそって社会に規定された性別と、生きようとしている性別・自認する性別が、一致しない場合もある。

ジェンダー表現：社会が求める「男らしさ・女らしさ」の表現と、自分の表現したい性の在り方が、一致しない場合もある。

企業等のLGBTに関する調査

企業名等	調査時期	調査対象及び調査手法	調査結果
電通ダイバーシティ・ラボ	H27.4	全国の20～59歳の約7万人を対象にしたインターネット調査	「LGBT層」に該当する人は7.6%
株式会社LGBT総合研究所	H28.5	全国の20～59歳の約10万人を対象にしたインターネット調査	LGBTに該当する人は約5.9% (レズビアン：1.70% ゲイ：1.94% バイセクシュアル：1.74% トランスジェンダー：0.47%) L G B TにあてはまらないAセクシャルなど、その他のセクシャルマイノリティに該当する人は約2.1%
日本労働組合総連合会	H28.6	全国の20～59歳の有職男女約1,000人を対象にインターネット調査	LGB（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル）3.1% トランスジェンダー 1.8% アセクシュアル（他者に対して恋愛感情も性的感情も向かない者）2.6% その他 0.5% LGBT当事者等（性的マイノリティ）は8.0%

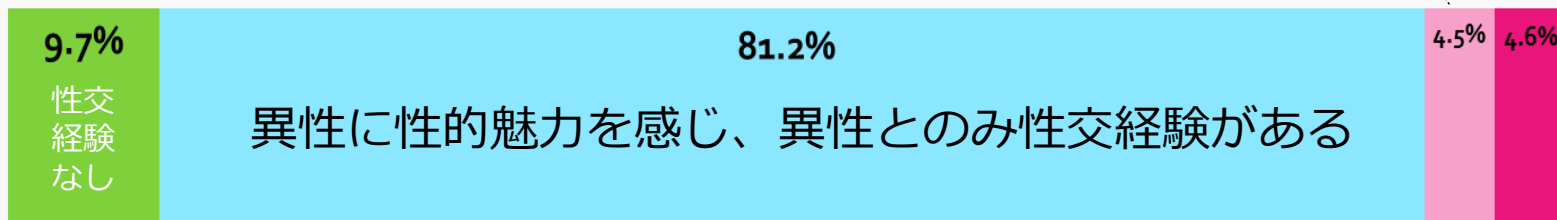
ただし、L G B Tの人口規模に関する公的な統計等は存在していない。

出典 中西絵里（法務委員会調査室）

LGBTの現状と課題-性的指向又は性自認に関する差別とその解消への動き -
：立法と調査 2017. 11 No. 394

日本成人男性におけるMSM

同性に性的魅力を感じるが、性交経験があるのは異性のみ

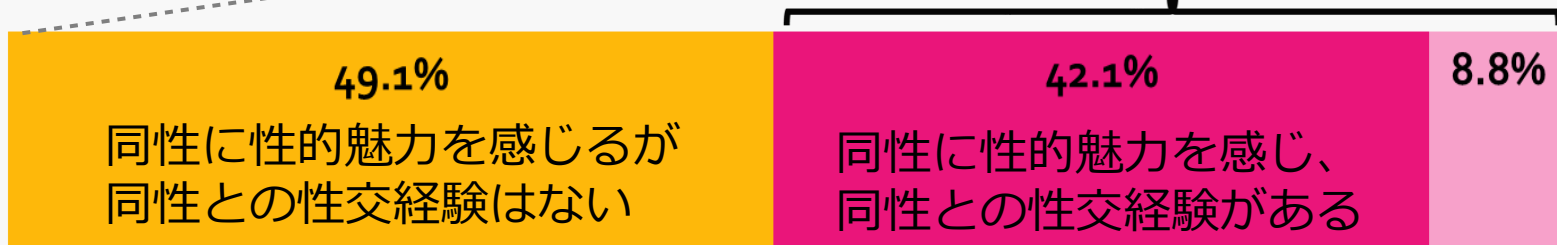


同性に性的魅力を感じ、同性と性交経験もある

① 成人男性(n=40,077)

MSM

(Men who have sex with men)



同性に性的魅力は感じないが、同性との性交経験がある

② 介入対象群(n=3,642)

ゲイ向け商業施設利用群

(34.6%)



これまでに商業施設の利用はないが、これまでにネットを介した性交経験はある

これまでに商業施設の利用はあるが、これまでにネットを介した性交経験はない

③ MSM(n=1,520)

カミングアウトの意味

- カミングアウトすることにはどんな意味があるのか。カミングアウトとは逆に、自身がセクシュアル・マイノリティであることを自分以外、または当事者の仲間内以外に隠している状態を、「クローゼット」や「クローゼットにしまいこんでいる」と表わす。**クローゼット状態を続けることは、相当の労力を要する。**セクシュアル・マイノリティであることを周囲に悟られることに怯え、隠し続ける限り、性的にマジョリティな自分を演じきる必要があるのだ。そのためには、**家族、仕事、学校などの公的領域での生活と、自分自身、パートナー、当事者コミュニティなどの私的領域での生活が決して交わることの無い、二重生活**を余儀なくされる。その生活は、公的領域でプライベートな話題を避ける、携帯電話を二台に使い分けるなど、精神疲労と煩わしさの連続である。（マーカス 1997）
- もともと英語のカムアウト／カミングアウトは、LGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー)などが、**自分の性的指向(恋愛や性的欲望の対象)や性自認(自分の性別に関する意識)について誰かに伝えることを指す言葉だ。**カミングアウトするということは、クローゼットに閉じこもっていた人が、そこから「外に出る」ということになる。それは、新しい自分が、誰かの前に立ち出会うということでもある。そして、その出会いとは、どちらかと言えば、新しく出会ったばかりの人とではなく、むしろ、**これまでお互いをよく知っていた親密な関係の相手との出会い直し**なのだ。そこから、関係を作り直す作業が始まる。（砂川 2018）
- アウティング（Outing）とは、ゲイやレズビアン、バイセクシャル、トランスジェンダー（LGBT）などに対して、**本人の了解を得ずに、公にしてい**ない性的指向や性自認を**暴露する**行動のこと。（Wikipedia）

なんとなく...知っておきたいセックス

アナルセックス

生堀（なまぼり）
種付（たねつけ）
肛門内に射精すること。
「中だし」ということも



フェラチオ

ケツなめ リミング



素股（すまた）

【セックスワーク編】



手コキ（てこき）



兜合わせ

ペニス同士をあわせる

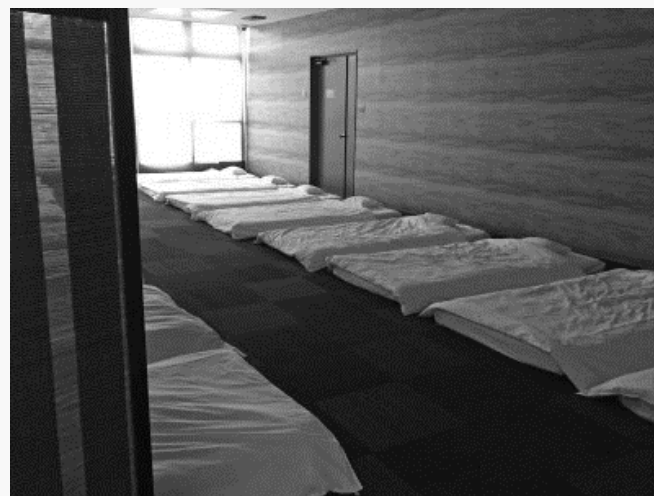


69(しっくすないん)

ハッテン場とは何か？

- 同性愛者向けの施設のうち、主として性行為を目的として男性同性愛者およびMSMが集まるとされるサウナ・ビデオボックス・公園・トイレなどの性的な空間。
- 男性同性愛者の出会いの場所でもある。カタカナでハッテン場と表現されることもある。英語では「Cruising Spot」や「Bath house」という。
- 有料のハッテン場と無料のハッテン場がある。
- 泊まるだけの場合もある。

参考：イメージ図



なぜMSMなのか？

MSMに感染は拡大しているのか？

なぜMSMに感染が拡大しているのか？

- 後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針

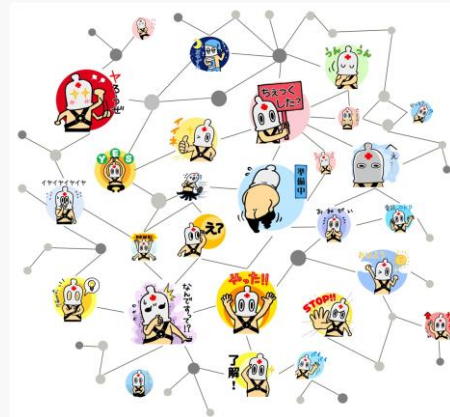
2017年4月11日 第4回エイズ・性感染症に関する小委員会

日本における発生の動向については、国及び都道府県等（都道府県、保健所を設置する市及び特別区をいう。以下同じ。）がHIV感染者等に関する情報を収集及び分析し、国民や医師等の医療関係者に対して情報を公表している調査（以下「エイズ発生動向調査」という。）によれば、**新規にHIVへの感染が判明した患者等の約3割が、エイズを発症した状態で感染が判明**しており、早期発見に向けた更なる施策が必要である。

HIVは性的指向のマイノリティ（例えば男性間で性的接触を行う者(men who have sex with men。以下「MSM」という。）、**性風俗産業の従事者、違法な薬物使用者などに感染拡大のリスクが高いとする特徴**がある。我が国では、これらの人々とともに、言語的障壁や文化的障壁があり適切な保健医療サービスを受けていないと考えられる外国人を加えた人々を、個別施策層(施策の実施において特別な配慮を必要とする人々)として位置づけている。その中でも現時点では感染者等の過半数をMSMが占めており、特に重点的な配慮をする必要がある。

-MSM(MEN WHO HAVE SEX WITH MEN)の場合-

...コンドーム=避妊具という認識の刷り込み



MSMにおける性感染症既往

	生涯のゲイ向け商業施設利用経験				Pearson カイ2乗 p値
	ある(n=179)		ない\ (n=320)		
梅毒	25	14.0%	3	0.9%	<0.01
A型肝炎	3	1.7%	0	0.0%	0.02
B型肝炎	9	5.0%	0	0.0%	<0.01
C型肝炎	1	0.6%	0	0.0%	0.18
尖圭コンジローマ	8	4.5%	1	0.3%	<0.01
クラミジア	18	10.1%	12	3.8%	<0.01
淋病	16	8.9%	8	2.5%	<0.01
性器ヘルペス	7	3.9%	5	1.6%	0.10
赤痢アメーバ	3	1.7%	0	0.0%	0.02
HIV感染症	8	4.5%	0	0.0%	<0.01
(再掲)性感染症既往	60	33.5%	25	7.8%	<0.01

ゲイバー、ゲイ向けクラブイベント、その他のゲイ向け商業施設(サウナ等)のいずれかを利用したことがある人といずれもない人で2群として分析した。



予防啓発とは?

SAFER SEX

性感染症(STI)とは？

症状が強く感染から早期に症状が出やすい。感染から比較的早く症状が出ることで感染の有無が分かり易く、かつ適切な治療を受ければ治りやすい。

男性で症状が出やすいといわれるが、最近は軽い場合もある。女性は重症になってから受診して、感染がわかることがある。オーラルセックスでも感染し、のどに感染しても自覚症状も見た感じもわからない。淋菌の治療薬は、耐性化している。

診断後すぐに処方できる。一回の服薬で治るが繰り返し感染する。

ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染によって生じ、適切な治療が施されないと重篤な全身性免疫不全により日和見感染症や悪性腫瘍を引き起こす状態を後天性免疫不全症候群（AIDS、エイズ）という。

性器ヘルペス

カンジダ膣炎

毛じらみ症

尖圭コンジローマ

梅毒

淋菌

クラミジア

ウイルス性肝炎

HIV

痛い

痒い

最近急増している。約3週間で、男性器などの周りの局所に痛みの無い潰瘍（硬性下疳）が起こるが放っておいても自然に消える。3ヶ月で、梅毒特有の皮疹がでる（バラ疹）。これも放っておいても自然に消えるけれど、そのままにしていたら、どんどん病気が進んでいく。

初期は無症状。感染したまま放置しておくとお子や精子の通り道が詰まり、妊娠しにくい・させにくい状態になる後遺症を残したり、命にかかわる。

性感染症(STI)の感染経路

性感染症（STD：Sexually Transmitted Disease）という「病気」だけではなく、症状が出ていない「感染状態」も含め広く考えるために、性感染（STI：Sexually Transmitted Infection）という語が使われる。

* 体液による感染（HIV感染症、B型肝炎、C型肝炎など）

血液・精液（先走り液も含む）・膣分泌液・母乳に含まれる病原微生物が、傷口・粘膜（膣・口の中・肛門の中・尿道・目）に接触すると、そこから病原微生物が体内に入り、感染する可能性がある。

* 接触による感染（梅毒、淋病、クラミジアなど）

粘膜部分や潰瘍部分に存在する病原微生物が、傷口・粘膜（膣・口の中・肛門の中・尿道）に接触すると、そこから病原微生物が体内に入り、感染する可能性があります。

* その他（A型肝炎、アメーバ赤痢など）

便に含まれる病原微生物の場合には、お尻を舐めることや、玩具などを肛門に挿入した際に、性器周辺に病原微生物が付着している場合があります、それが口に入ることによって感染することがあります。特に排便後、きれいに洗っていただければリスクは高くなります。

※必ず感染するわけではありません。

- ✓ C型肝炎は、使いまわしの針の使用などで感染することも多く、一度の血液暴露機会での感染確率は約2%とされている。ちなみにB型肝炎は30%、HIV感染症は0.3%。
- ✓ 曝露後予防内服（Post-Exposure Prophylaxis; PEP）を全く行わない場合のHIV感染率は、針刺し事故の場合で0.3%（0.2-0.5%）、粘膜曝露の場合で0.09%（0.006-0.5%）。血液以外の体液の曝露に関してはデータに乏しいが、これよりも感染リスクは低いと考えられる。

性感染症(STI)の感染経路

-どのようなセックスで感染するのか？-

* 性器性交

ペニス **X** 膣

ペニス **X** ペニス

膣 **X** 膣

* 肛門性交（アナルセックス）

ペニス **X** 肛門

* 口腔性交（オーラルセックス）

口 **X** 口（キス）

口 **X** ペニス（フェラチオ）

口 **X** 肛門（リミング）

口 **X** 膣（クニリングス）

SAFER SEXとは何か？

- 英語で“Safe”といえば“安全”という意味なので、“Safe Sex”といえば安全なセックスを指すことになります。安全ということですから、感染の可能性を完全になくす必要があります。
- “Safer Sex”では英語で“Safer”は比較級の表現で“より安全な”という意味を指します。
- それは、感染の可能性をできるだけ減らすための“より安全なセックス”という考え方なので、コレが正しく完璧なやり方があるというわけではありません。
- その時の、自分や相手の体調や精神状態によってやり方の基準は変わるものですし、相手との関係性によっても変わってきます。そういった意識をもって、その時々に応じた自分なりの“Safer Sex”を作り上げていけばいいということなのです。

SAFER SEXとは何か？

-**SAFER SEX**を実行するのに大切な**4**つのこと-

- 👍 HIV/エイズや他の性感染症について知っておく
- 👍 性感染症が、どんな行為や経路で感染するのかを理解しておく
- 👍 自分の欲求とその場合の感染リスクについて考え、納得できる具体的な基準を作る
(コンドームを持っておく・口をゆすぐ・ワクチンを接種する...)
- 👍 自分のカラダの状態を知っておく ▣ HIV抗体検査

SAFER SEXって具体的には?

-SAFER SEXを考える3つのPOINT-

感染源となるウィルスや細菌が、体液を通して、粘膜や傷口に接触することを...

 **遮断する**

 **量を減らす**

 **時間を減らす**

セックスしない

体調を管理する

相手と話し合う

歯磨きしない

中出ししない

傷をつけない

セックスの前後にシャワーを浴びる

コンドームをつける/つけられる

予防接種を受ける

うがいをする

検査を受ける

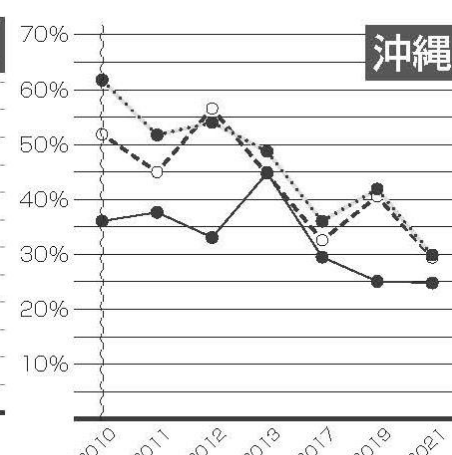
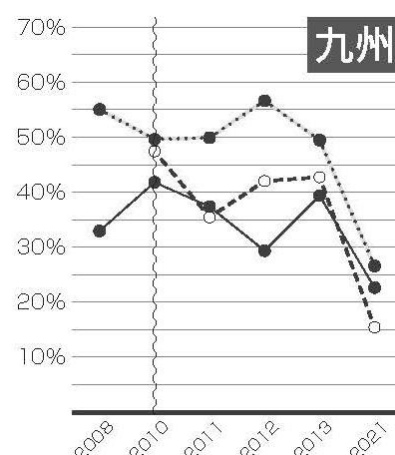
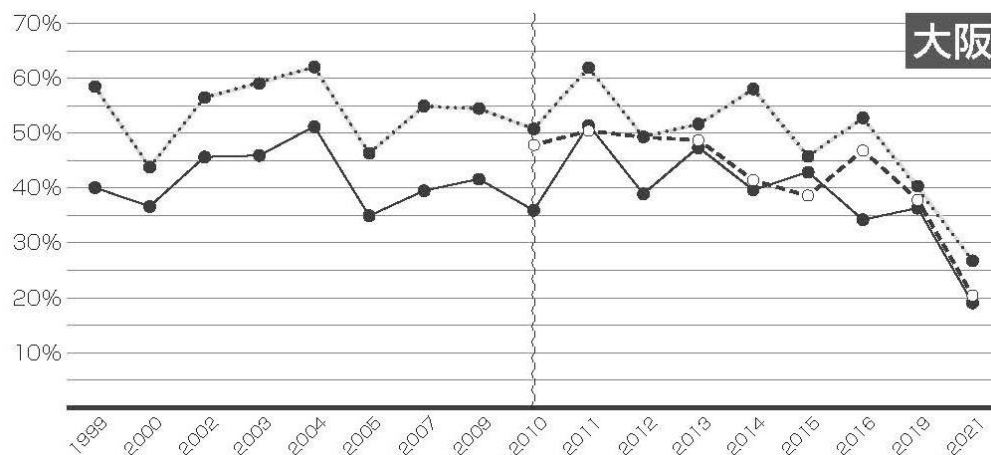
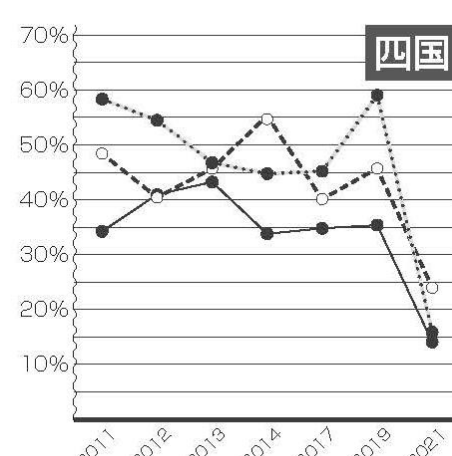
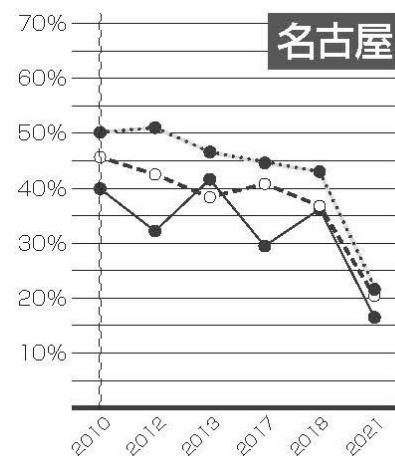
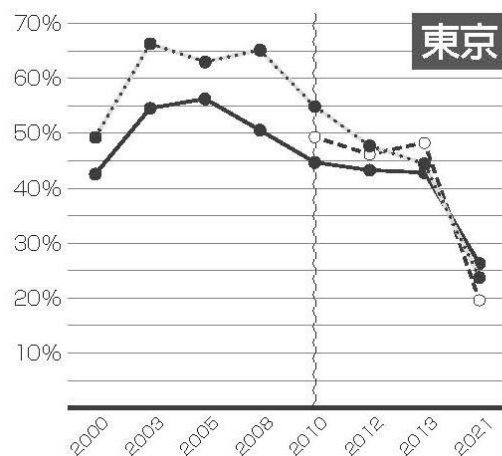
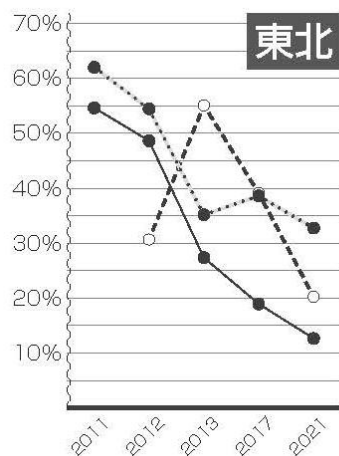
酔っ払わない

唾を飲まない

潤滑剤を利用する

CDCは年に最低1回の検査を推奨している。また、複数人でのセックス・相手が誰かわからない状態でのセックス・脱法ドラッグをつかったセックス・あるいは自分のパートナーがこれらの行為にかかわっている場合には、より頻回な検査（3～6ヶ月ごと）を推奨している。

過去6ヶ月間のコンドーム常用割合の推移（相手別）



- — — ● その場限り
- — — ○ 友達やセクフレ
- — — ● 恋人や彼氏

地域におけるMSMのHIV感染・薬物使用予防と支援策の研究【令和3年度】分担研究報告

(2)ゲイコミュニティにおける性行動および予防啓発に関する
動向の把握と効果評価

コンドーム使用

-使い方の説明と伝えるポイント



☑効果を得るための条件を伝えること

- カバーしている面積の範囲で皮膚・粘膜の接触を防ぐことができる。適切につけることが重要。使用にはお互いに責任がある。
- 購入・保管・適切な着脱のためには準備やスキルが必要であること、学べるリソースがあれば伝えること。

☑限界について伝えること

- つけていても外れることがあるし、破損することもある。
- どの時点から使うかも重要。
- よくある誤解・失敗・事故について、具体的な事例とともに発生を回避する方法を伝えること

☑限界を補う方法を伝えること

- 自分なりのSAFER SEXを見つけておく
- 「使っている」「適切に」「正しく」の理解が独自のものになりやすいので、具体的に確認できると良い

検査場での相談事例 PART1

30代の男性、会社員。一人暮らしで親から仕送り生活。ゲイであるとは決めていないが、決める必要があるとも思っていない。男性との性行為についてはあえて自分から言わない。今回はバーでチラシを見た友達に誘われて、一緒に検査に受けに来た。初めての検査。

何だか保健所に来て話を聞いていたら、緊張してきた。

ゴムを使わなかった過去のことにも心配になり、不安にスイッチがはいってしまった。これまで、ゴムの使用は相手にまかせ。使ってと言われれば使うし、何も言われなければ使わない。

もし感染してたらどうなっちゃうんだろう？
病院に行くの？ すぐに入院とかになるのかな？
友達にもばれる？
健康保険を使ったら親にもばれるの？
会社にも伝わるのかな？
友達と一緒に受けたんだけど、
もし感染していればれたらどうしよう？
など次々と質問する。



検査場での相談事例 PART1

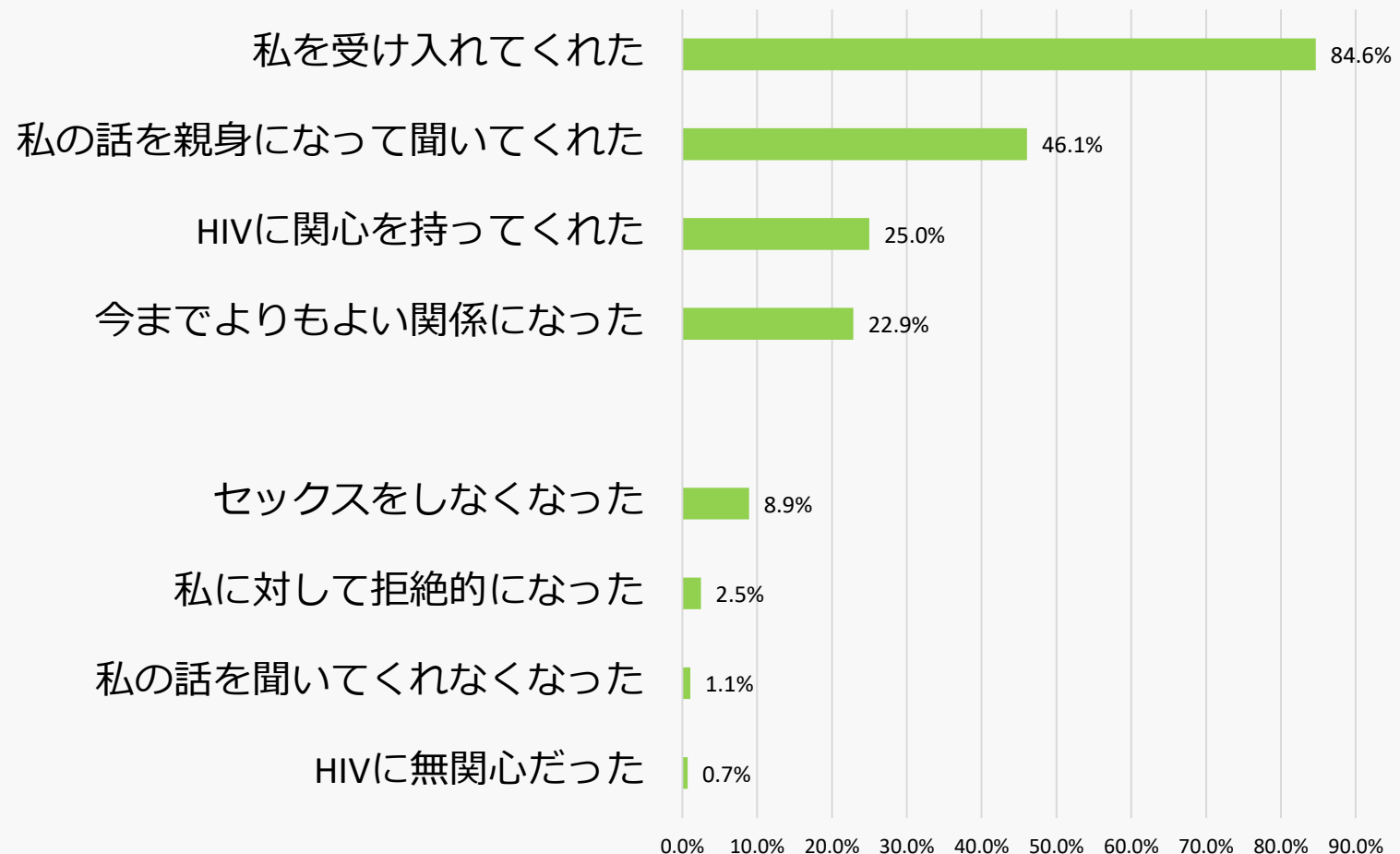
30代の男性、会社員。一人暮らしで親から仕送り生活。**ゲイであるとは決めていないが、決める必要があるとも思っていない。**男性との性行為についてはあえて自分から言わない。今回はバーでチラシを見た友達に誘われて、一緒に検査に受けに来た。初めての検査。何だか保健所に来て話を聞いていたら、緊張してきた。**ゴムを使わなかった過去のこと**も心配になり、**不安にスイッチがはいってしまった。**これまで、ゴムの使用は相手にまかせ。使ってと言われれば使うし、何も言われなければ使わない。

もし感染したらどうなっちゃうんだろう？
病院に行くの？ すぐに入院とかになるのかな？
友達にもばれる？
健康保険を使ったら親にもばれるの？
会社にも伝わるのかな？
友達と一緒に受けたんだけど、
もし感染していればたらどうしよう？
など次々と質問する。



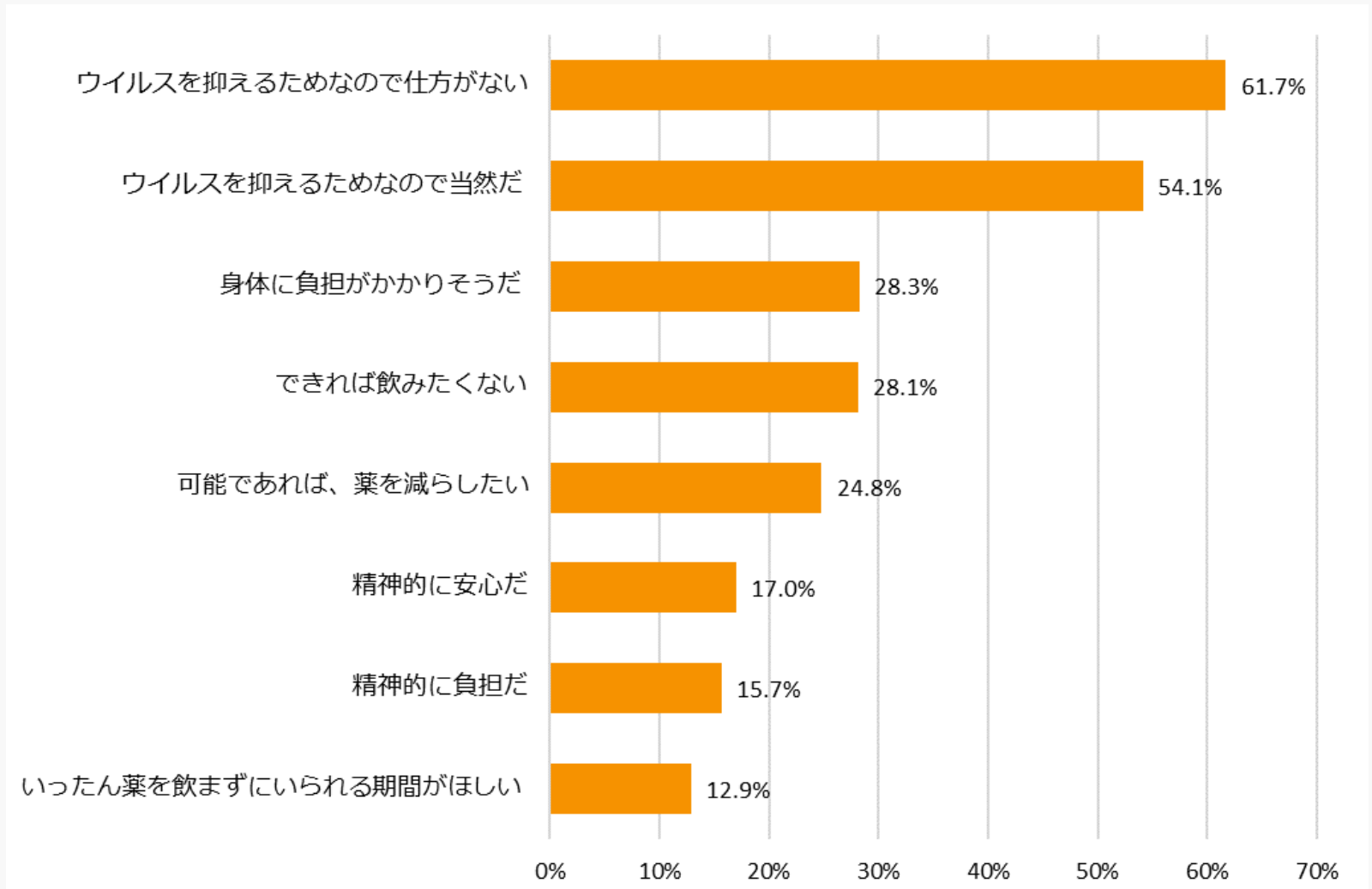
FUTURES JAPAN 第3回調査結果 サマリーより

図 4-6 特定の付き合っている人・配偶者や恋人の主な相手に HIV 陽性ということ伝えたときの反応(n=280)



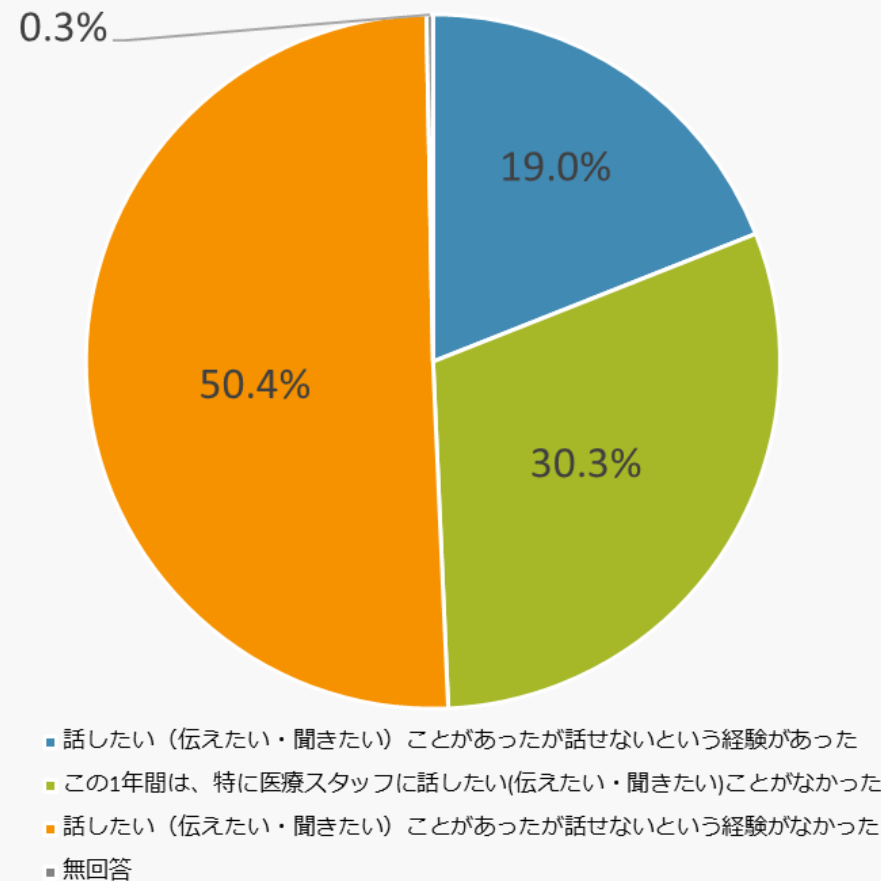
FUTURES JAPAN 第3回調査結果 サマリーより

図 10-5 長期間 HIV の薬を飲み続けることについてどう感じるか (N=908 複数回答)



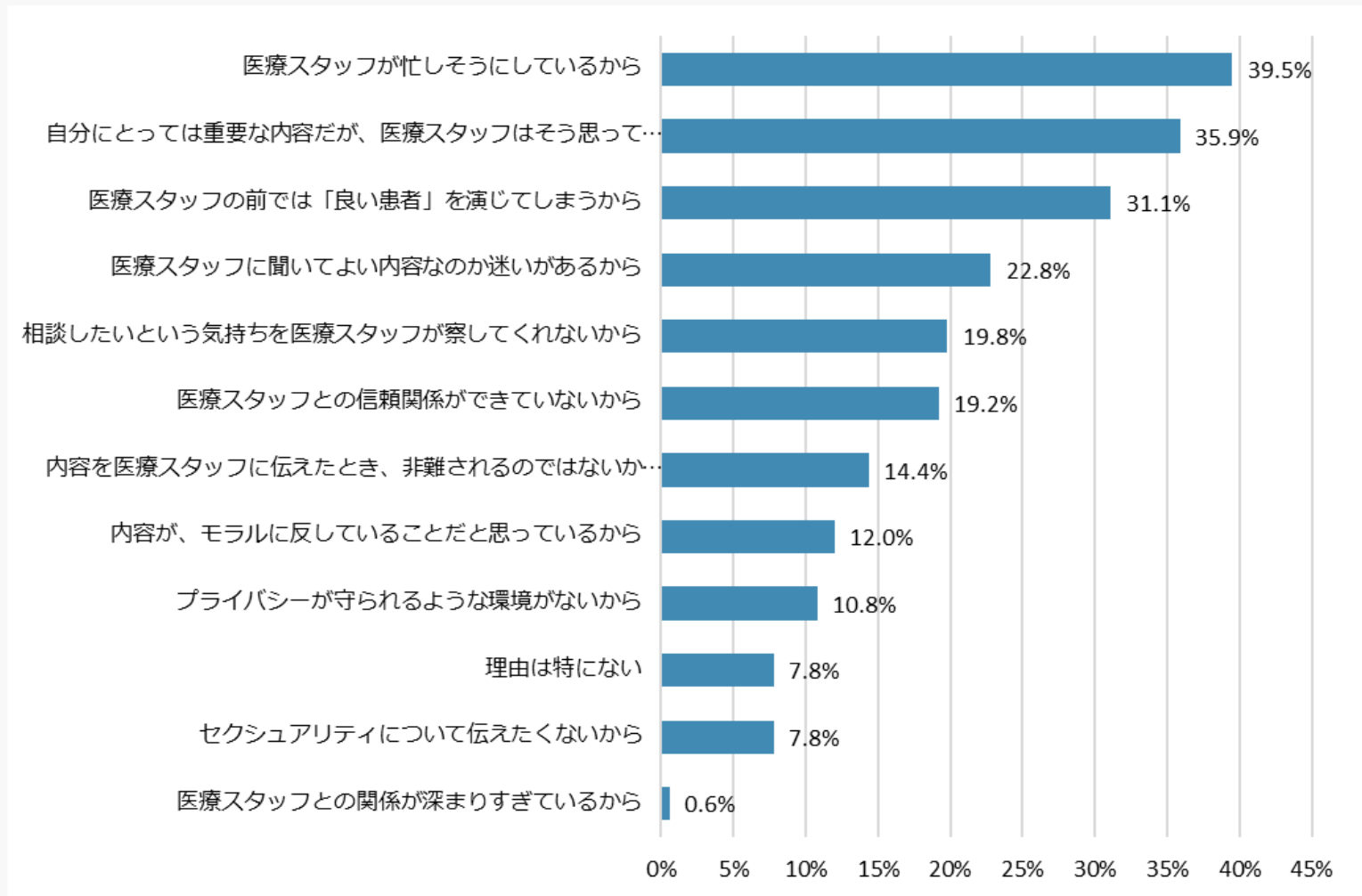
FUTURES JAPAN 第3回調査結果 サマリーより

図3-4 医療機関の医療スタッフと話したいことがあるのに話することができないという経験（n=881）



FUTURES JAPAN 第3回調査結果 サマリーより

図3-5 話せなかった理由 (n=167)





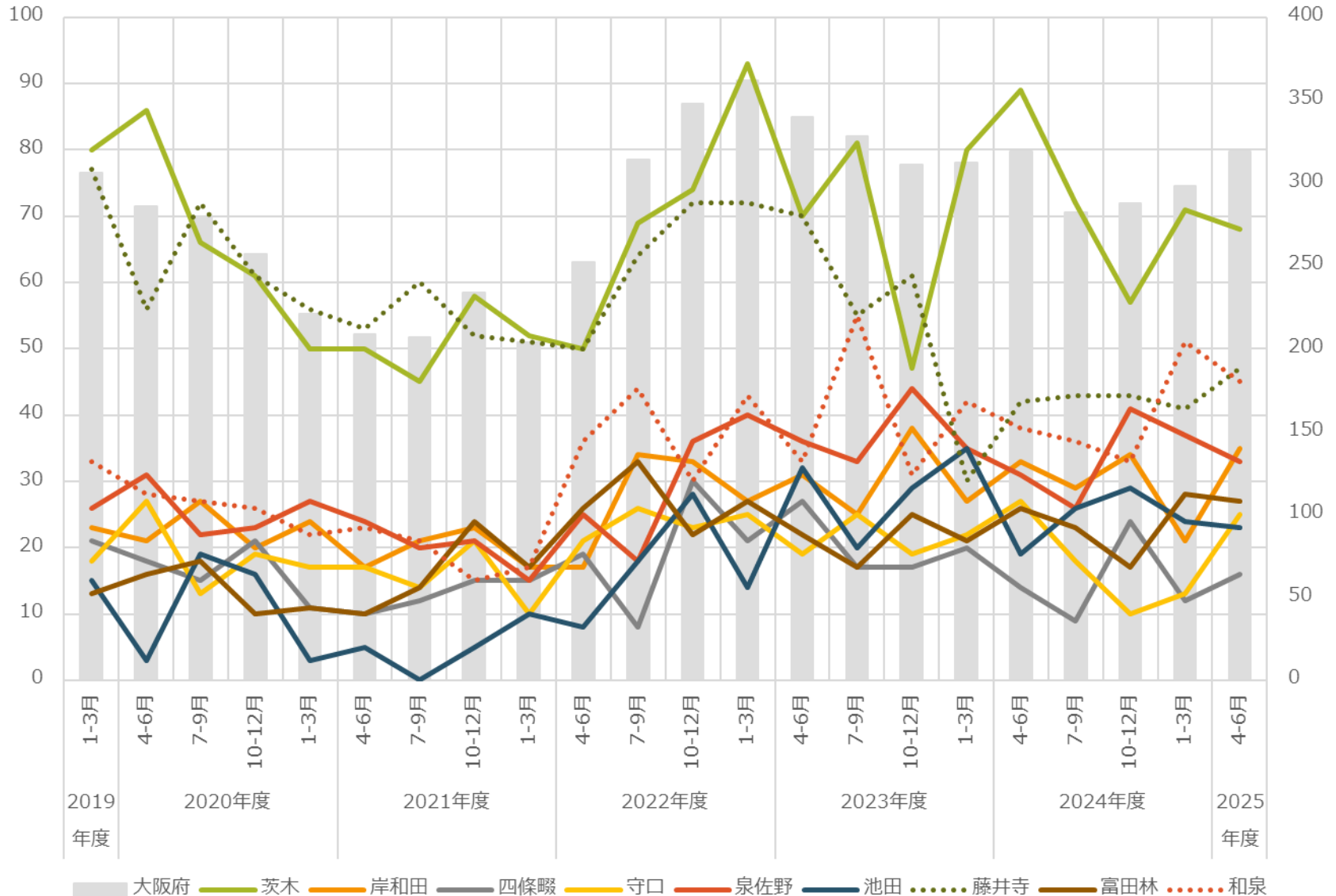
予防啓発とは？

保健所アンケート結果とHIV抗体検査

大阪府保健所受検者の動向(2020.1-2025.6) 受検者アンケート集計 –保健所別受検者数

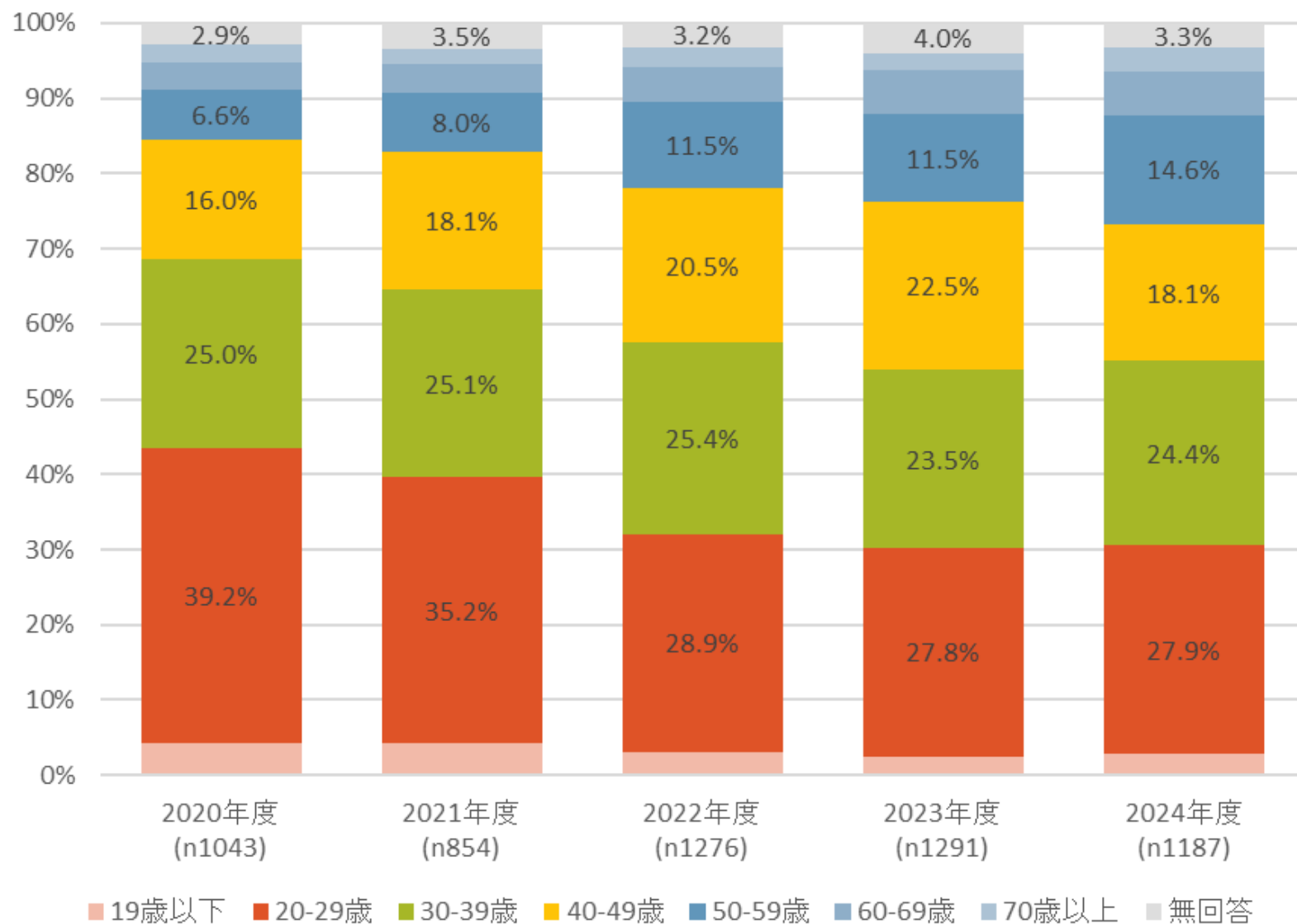
(各保健所)

(大阪府)

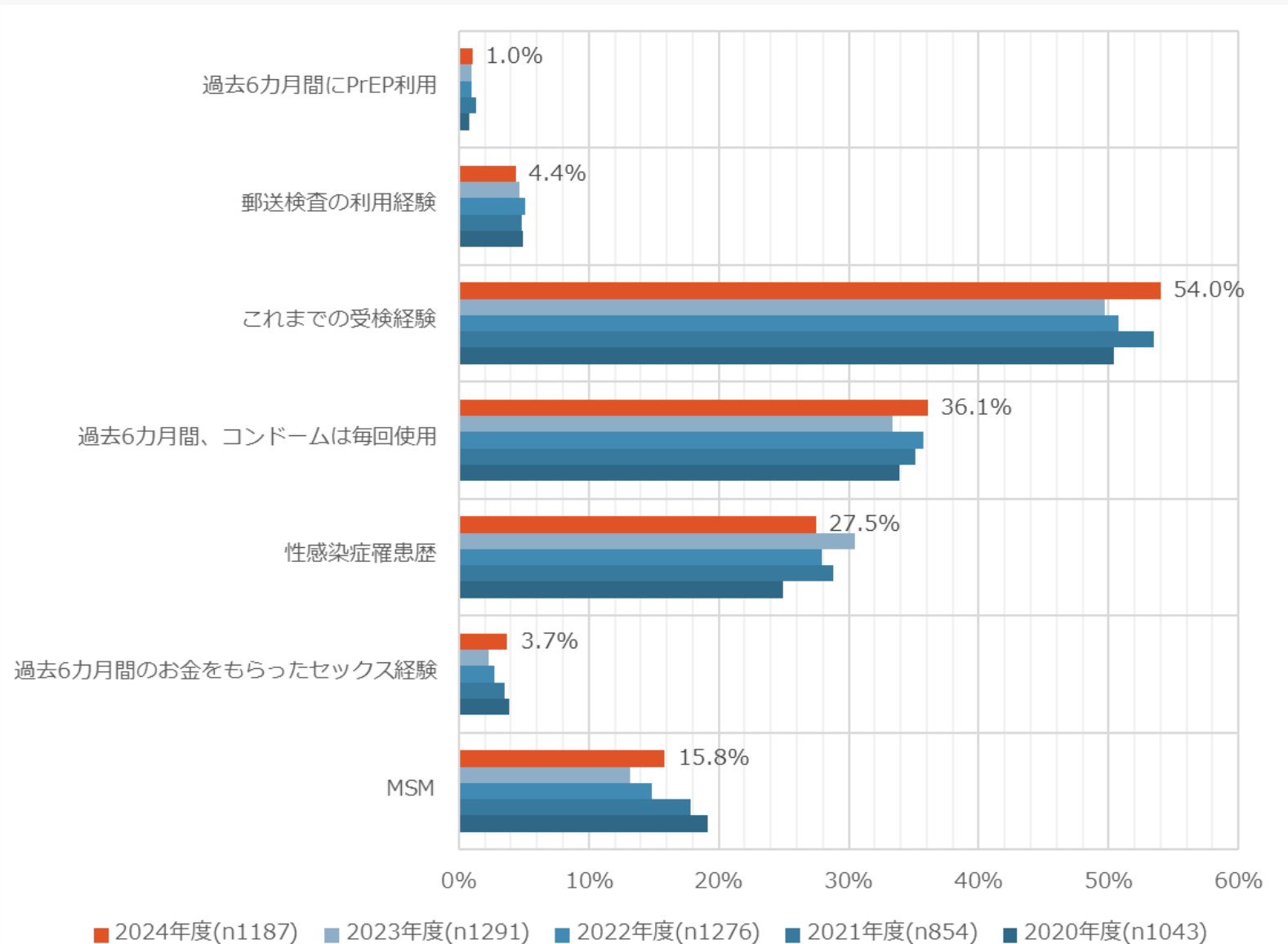


大阪府保健所受検者の動向(2020.4-2025.3)

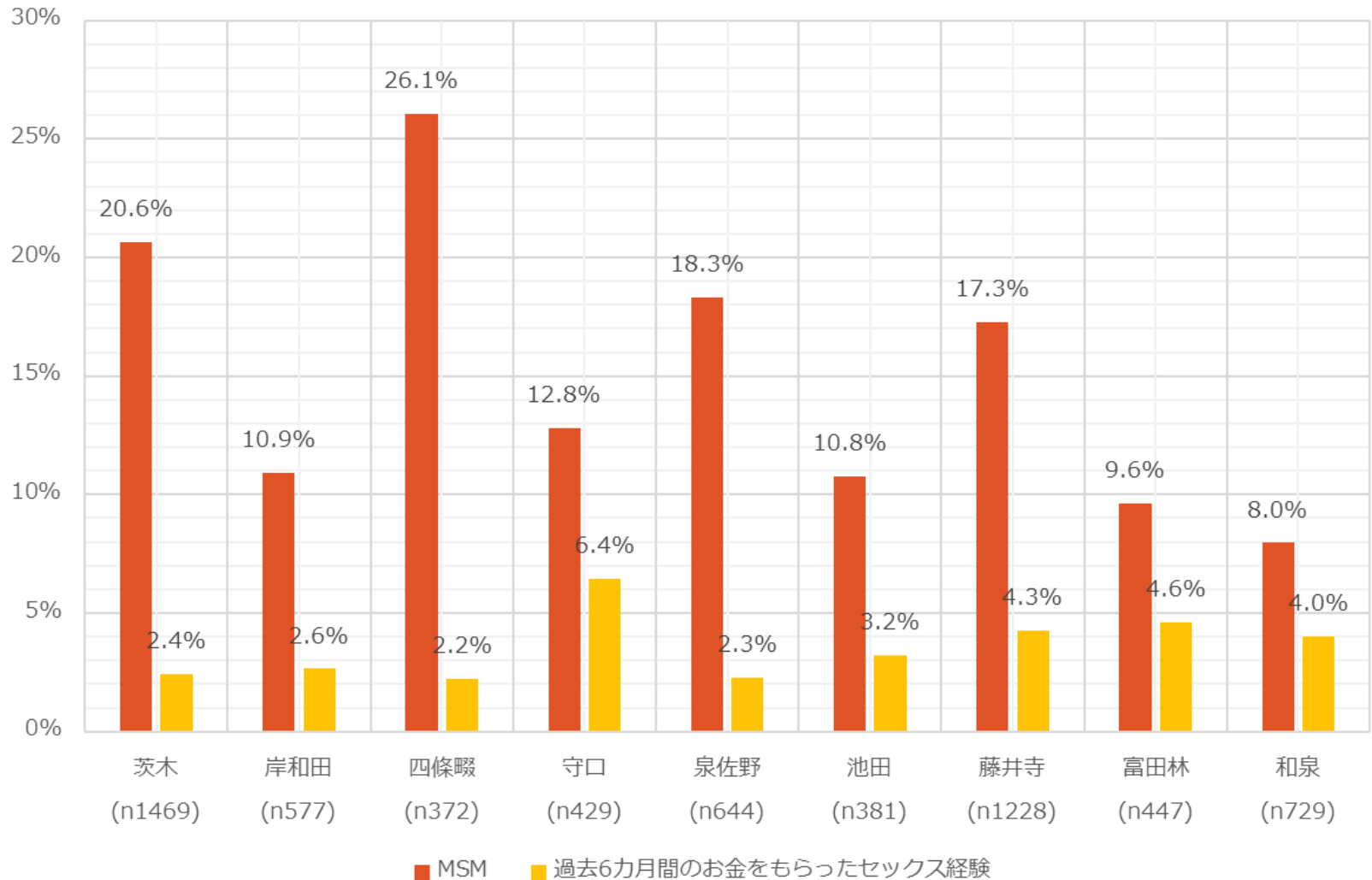
受検者アンケート集計 -年度別 年齢割合



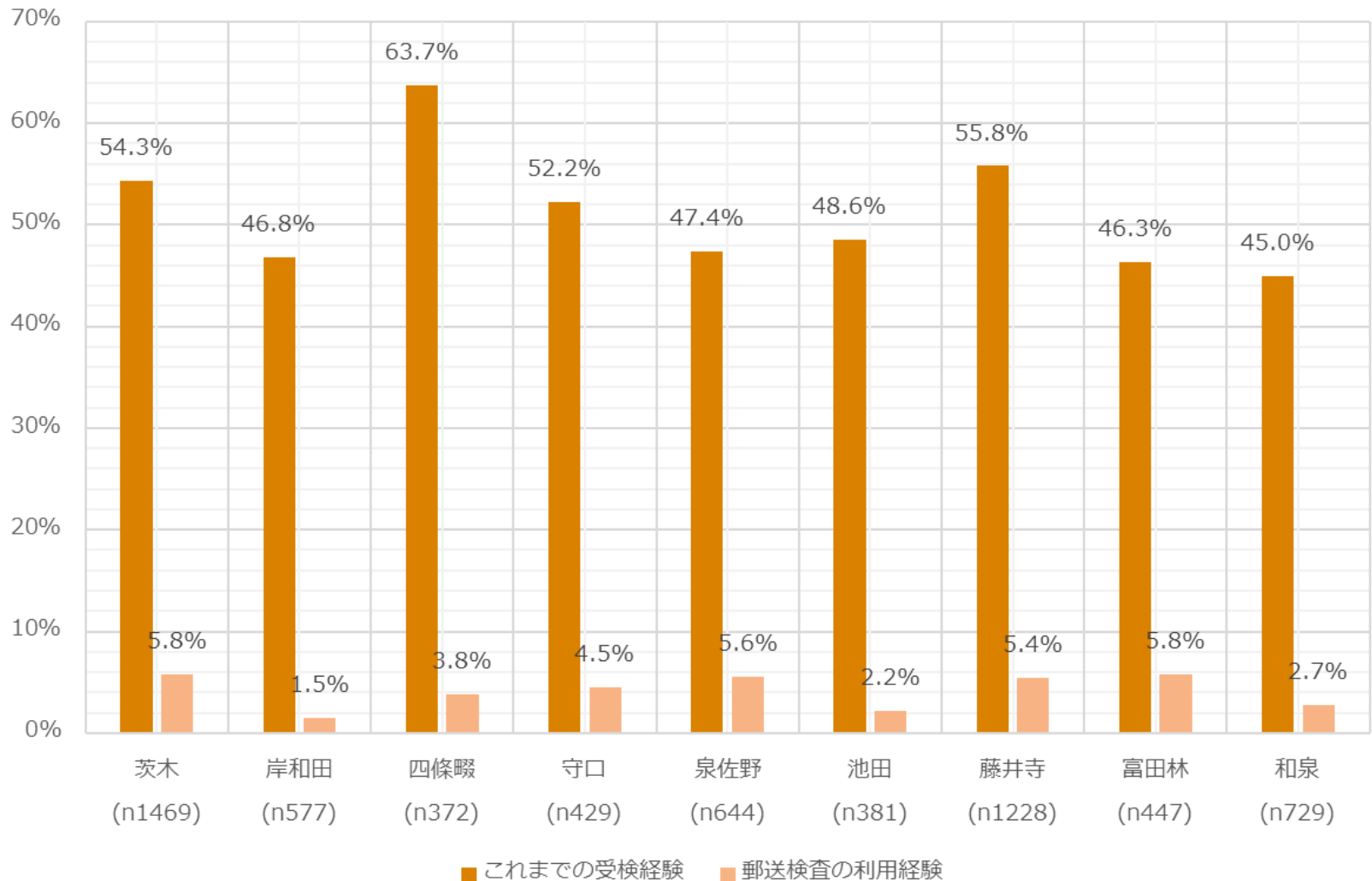
大阪府保健所受検者の動向(2020.4-2025.3) 受検者アンケート集計 -年度別



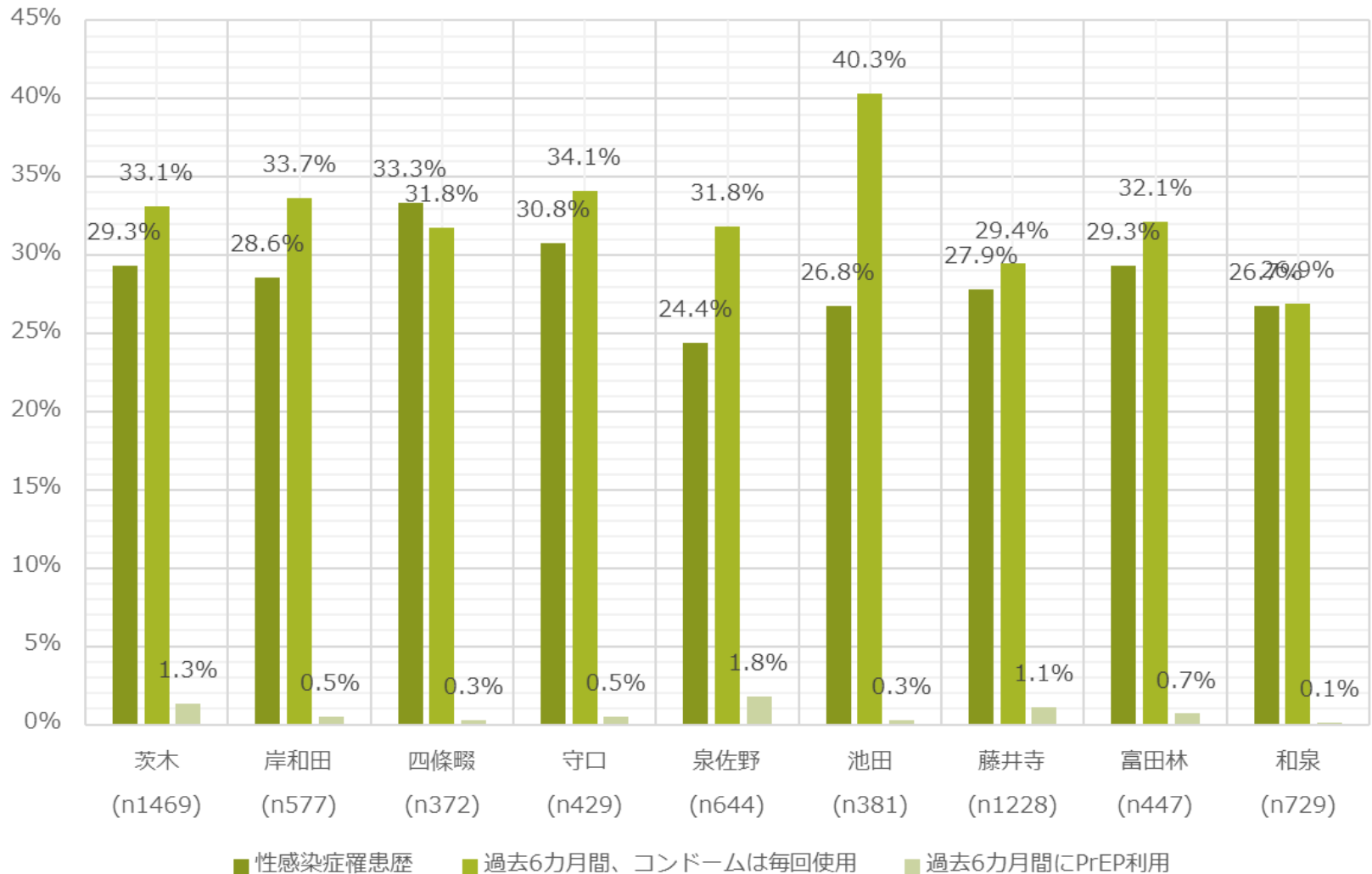
大阪府保健所受検者の動向(2020.4-2025.3) 受検者アンケート集計 –保健所別分析



大阪府保健所受検者の動向(2020.4-2025.3) 受検者アンケート集計 –保健所別分析

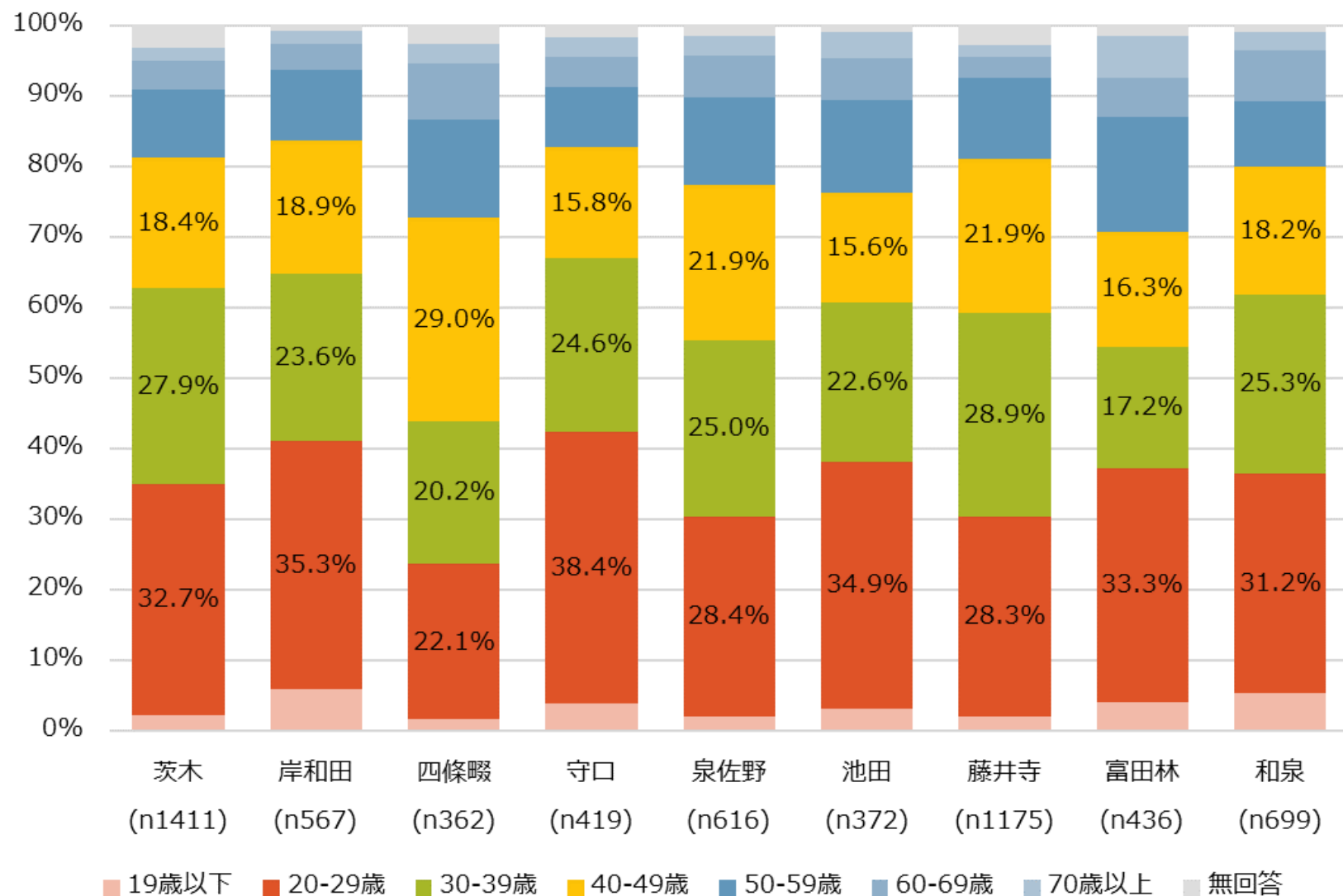


大阪府保健所受検者の動向(2020.4-2025.3) 受検者アンケート集計 –保健所別分析



大阪府保健所受検者の動向(2020.1-2025.6)

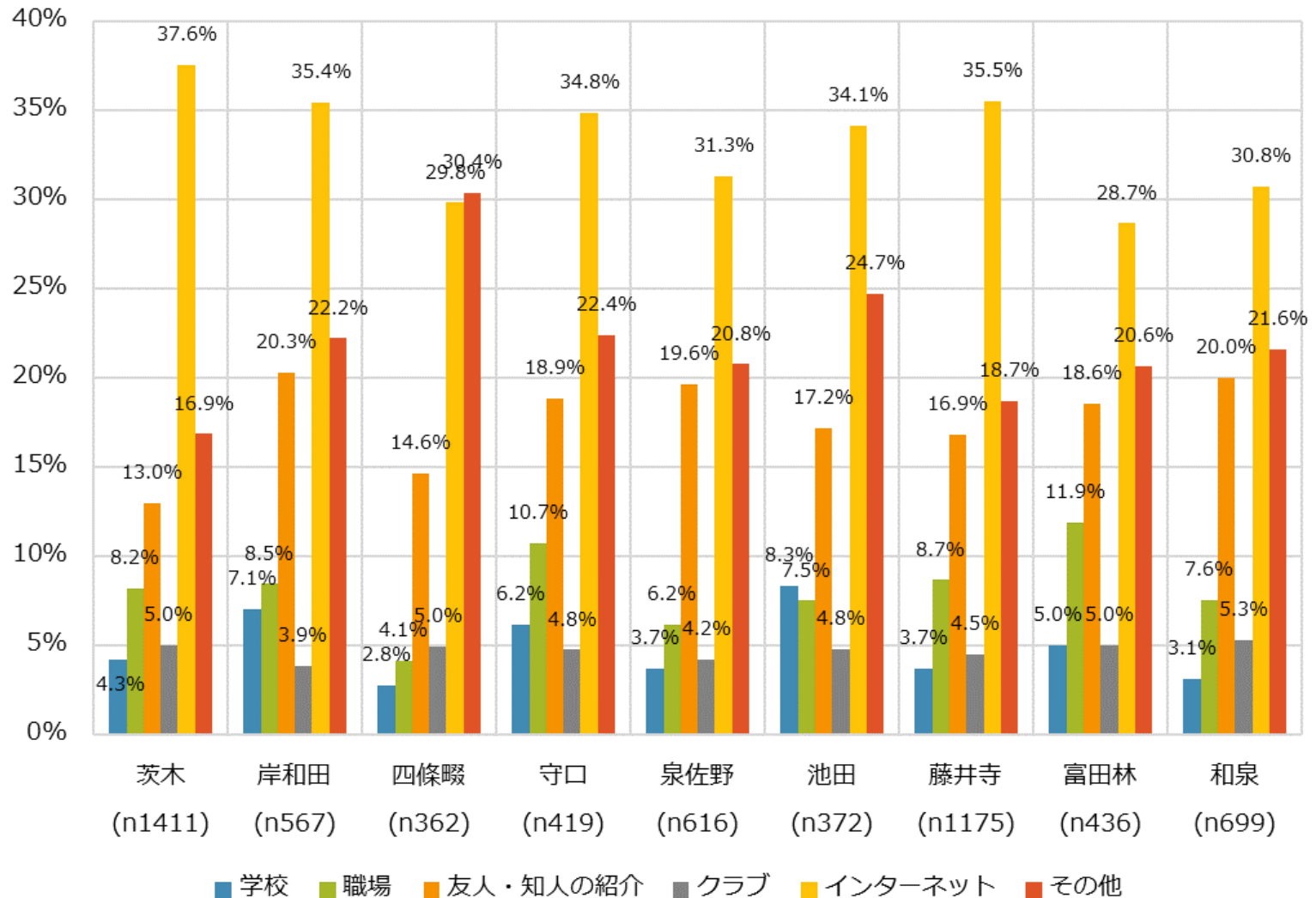
受検者アンケート集計 -保健所別 年齢層



これまでの性交経験で「なし」「無回答」であった人を除いて集計

大阪府保健所受検者の動向(2020.1-2025.6)

受検者アンケート集計 -保健所別 相手と知り合った経緯

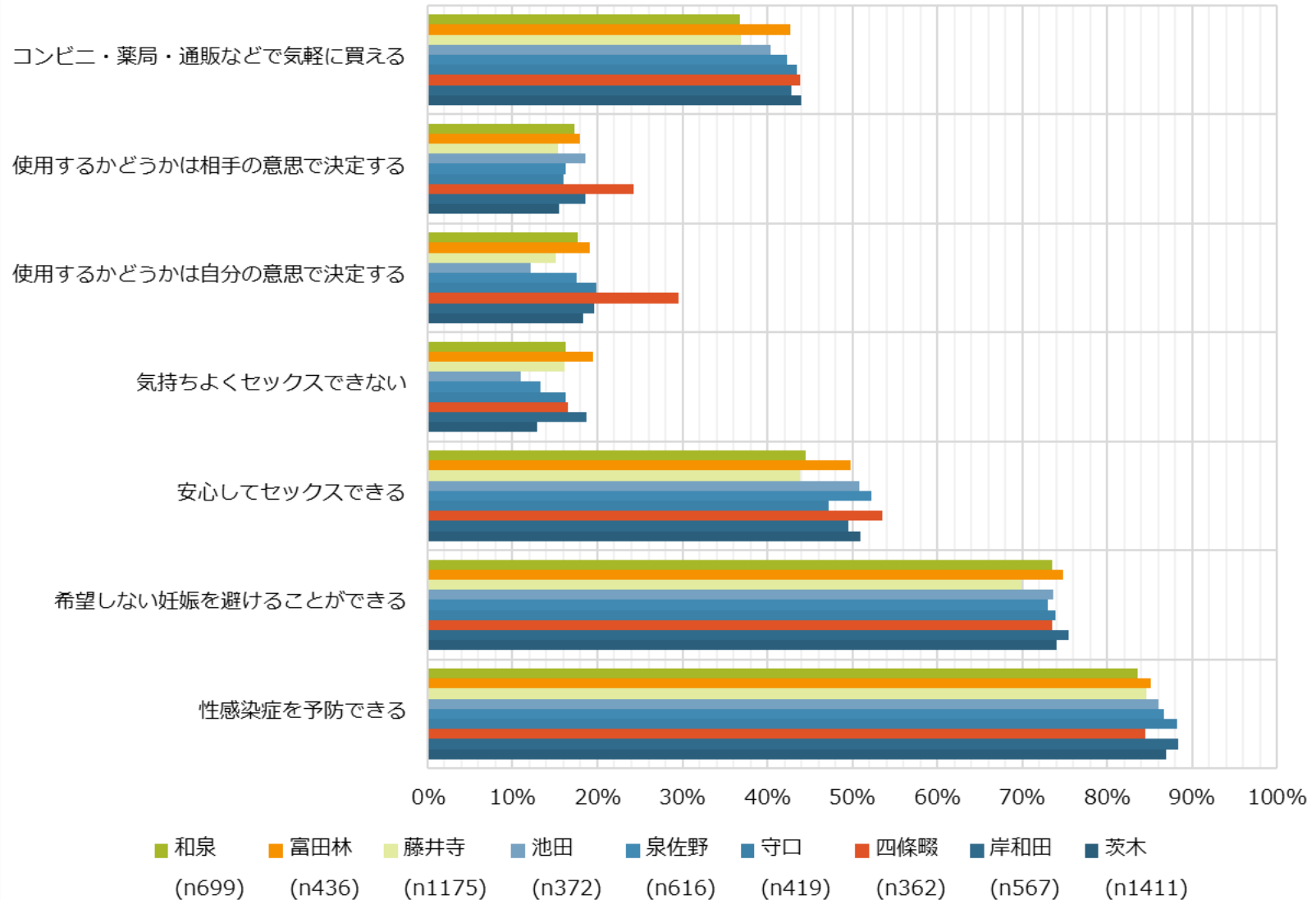


これまでの性交経験で「なし」「無回答」であった人を除いて集計

大阪府保健所受検者の動向(2020.1-2025.6)

受検者アンケート集計 -保健所別

コンドームイメージ

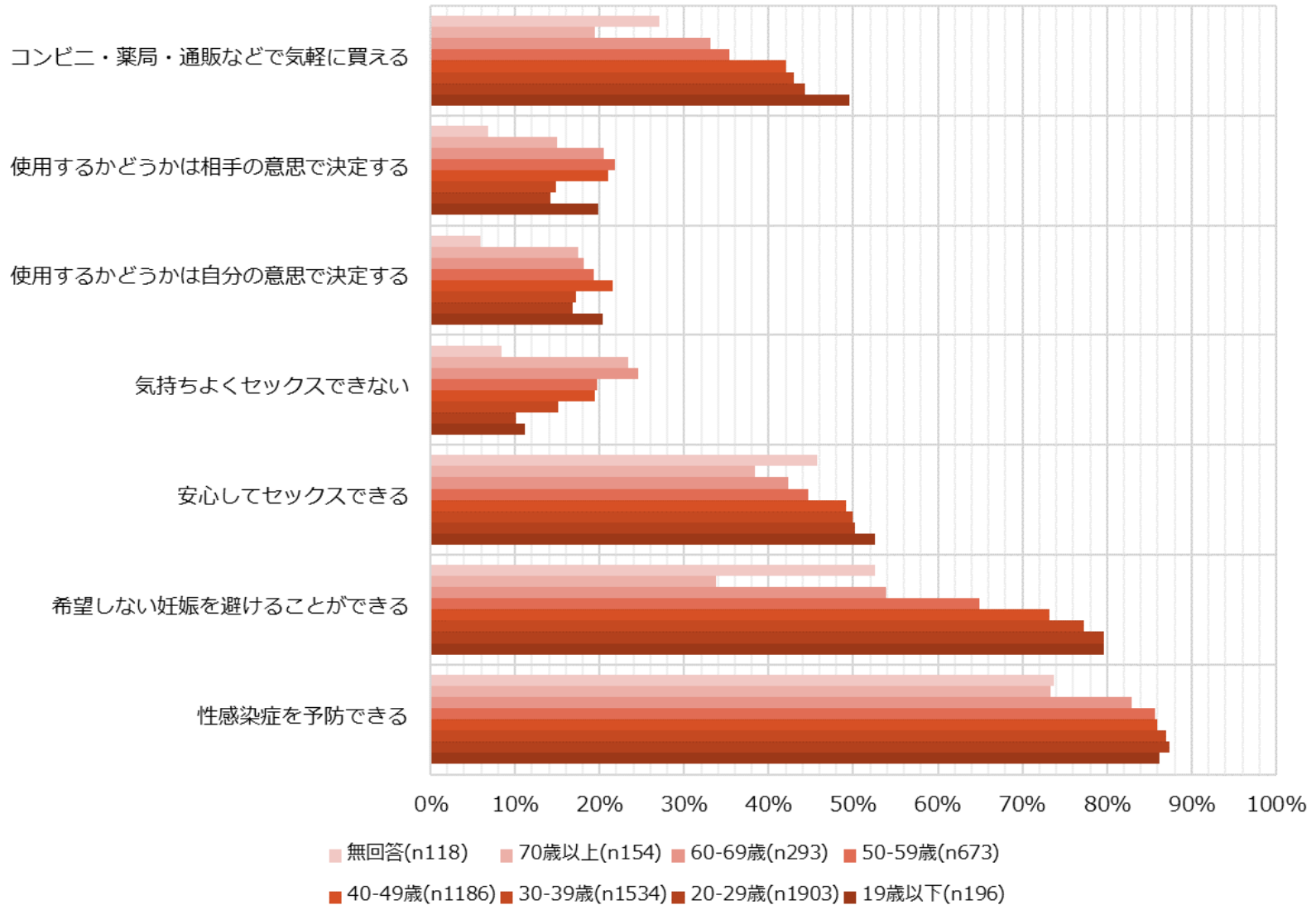


これまでの性交経験で「なし」「無回答」であった人を除いて集計

大阪府保健所受検者の動向(2020.1-2025.6)

受検者アンケート集計 年齢層別

コンドームイメージ



これまでの性交経験で「なし」「無回答」であった人を除いて集計

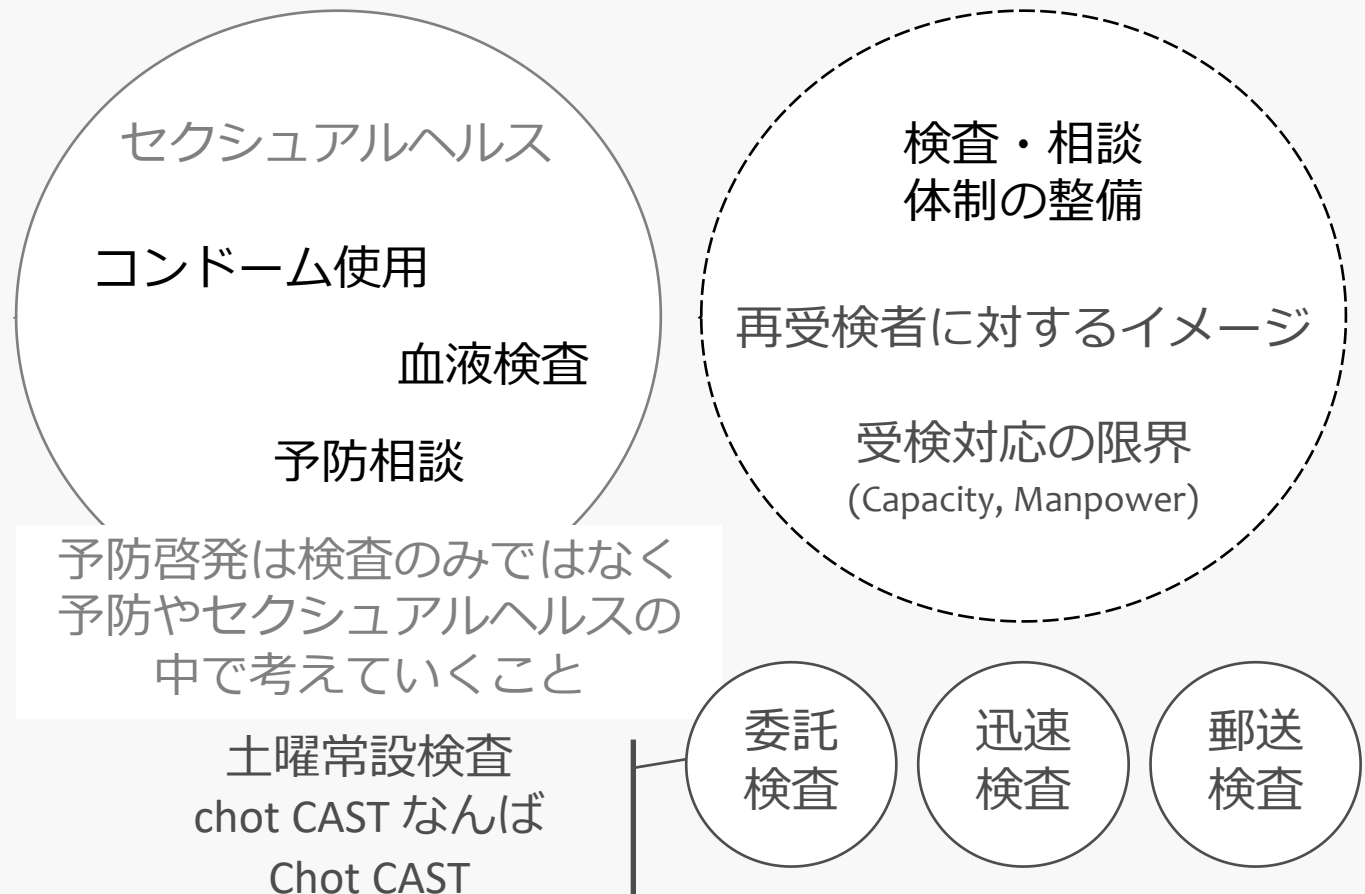
- MASH大阪が1999年に行ったベースライン調査(n=498)ではMSMにおける過去1年間の受検率は**19.5%**であった。
- その後、過去1年間の受検率は**27.6%**(2005年、n=449) **28.1%**(2010年、n=1,238) **32.4%**(2016年、n=1,140)と上昇している。
- まず、これまでMASH大阪が展開してきたHIV抗体検査プログラムを軸に、HIV抗体検査に対するゲイコミュニティの向き合い方について説明する。



SWITCHは 「セクシュアルヘルスにSWITCHしよう」という意味

検査会の中に意図的に予防相談を盛り込むことで
行動変容を促す

出典：SWITCH2000報告書



MSMにおける生涯受検割合は6割～7割と高く、横這いとなっていた。受け入れ環境は劇的には変わらないし、受検者側も検査や保健所に対するハードルは高い...



MAQ

- HIV感染の可能性の高い状況にありながら、わざわざHIV検査には行かない(または行けない)人たちへ「来るのを待っている」のではなく、「いる場所に出向く」
- MSMが多く集まる屋外イベントPLuS+の開催に合わせて会場内で実施
- 迅速検査を導入
- 要確認の場合には翌日に結果を通知

CLUB 3RD

- 若年層で感染が拡大傾向にあることを背景に未受検者を対象に検査機会を提供
- HIV/STIに関心を持たない層が「いる場所へ出向く」検査。大型のゲイ向けクラブイベントでの実施
- 他の検査機会も紹介しつつ、検査キット配布前に、本人によるリスクチェック、その後、対面での説明と理解度を確認をした後に手渡しで配布した

検査・相談
体制の整備

2008年頃になると
保健所での受検行動は横這い...
ハード面の拡充は難しい...

選べる!! 性病検査
1,000円
キャンペーン

当事者を中心とした訴求力の高い広報で
受検行動を促進することはできる

受け入れ環境は劇的には変わらない
受検者側も検査や保健所に対するハードルは高い...

500円
性病検査!
頼れる街のお医者さん

クリニックや診療所は治療アクセスの容易な診療所での
検査機会であり生活時間に合わせて受けられる

性的指向にとらわれず、受けられる診療所の存在に慣れることは
ゲイコミュニティにとってセクシュアルヘルス増進にもつながる

継続することで
キャンペーン期間以外の
感染者報告数も...

他の地域でも展開...



2015年には検査に「行かせる」ことから「MSMに近い場所で行う」ことを念頭に、コミュニティセンターでの検査会「distaでピタッとちえつくん」を実施

MSMコミュニティにおける検査に対するイメージは変わっていない
受検に対するハードルは高いまま

受検者数の増減が政策の評価指標となっている
また、HIV陽性が判明した人の数も重要とされている
本当にコミュニティのセクシュアルヘルスにつながるの？

定期的に受検することが推奨されているが、受検前の
ガイダンスは再受検者にとって、どこまで必要？

検査受検はオープンに、結果お知らせはプライバシーを保護
再受検者は簡単なセルフチェックで先に進める仕組み
2ヶ月に1回の定期的な開催とメッセージとしての広報



商業施設の多い地域で定期的かつオープンに検査会を実施することで、検査に対するハードルが下がり、受検行動が日常の一部となることを期待している。



2020年以降、コロナ禍によって保健所の検査機会は一時縮小し、
密を避ける等の懸念から、当事者も検査行動を控えている

U=Uが浸透すれば、検査（早期診断）のメリットが増すし、
早期治療につながる方が、QOLは断然良い。
HIV statusの開示は以前と比べてしやすくなっている。

PrEPには服用後、使用後のフォローアップが必要...
リモートクリニックでの処方や海外の輸入もある...

定期的に受検するには、検査の利便性はもっと上がったほうがいい...



あくまでスクリーニング検査なので、対面や保健所での検査機会は必要。

HIV抗体検査に対する 考え方の変遷

検査会の中に意図的に予防相談を盛り込むことで
当事者の行動変容を促す。



当事者の行動変容は、
コミュニティの中で...

保健所の昼間以外の検査機会を増やしていく。
いつでも受けられる検査（夜間土日、診療所、郵送の検査）

生涯受検率 23.8%
過去1年間の受検率 9.6%

「行かせる」ことから「MSMに近い場所で行う」検査会。
検査に対するハードルが下がり、受検行動を日常の一部に。

生涯受検率 61.6%
過去1年間の受検率 18.2%

初受
検者

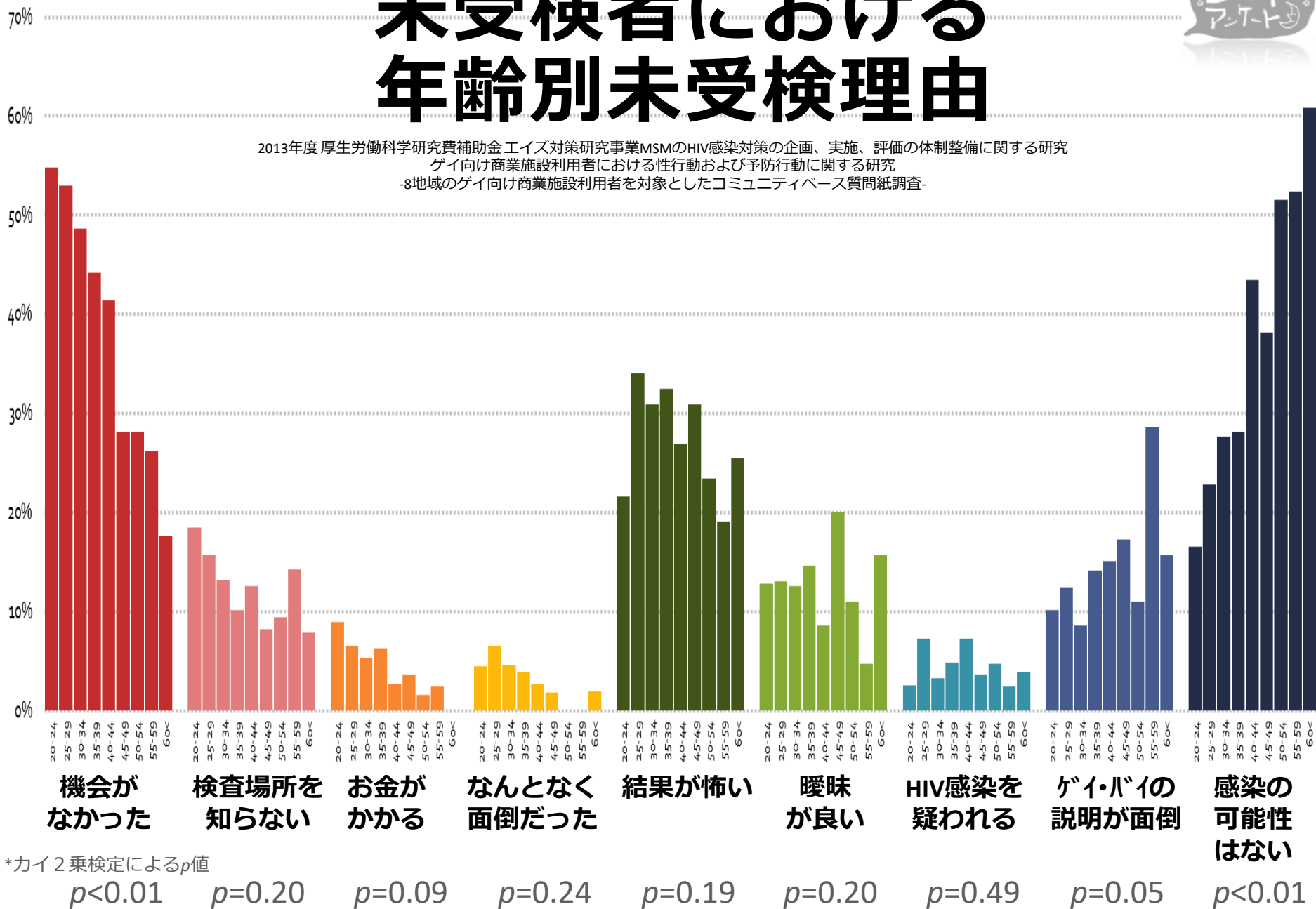
生涯
受検

再受
検者

定期
受検

未受検者における 年齢別未受検理由

2013年度 厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業MSMのHIV感染対策の企画、実施、評価の体制整備に関する研究
ゲイ向け商業施設利用者における性行動および予防行動に関する研究
-8地域のゲイ向け商業施設利用者を対象としたコミュニティベース質問紙調査-



*カイ2乗検定によるp値

検査場での相談事例 PART2

20代大学生。ゲイ男性。躊躇なくゲイといえる。
自分がしている行為についても、話すことは構わない。
セックスポジションはリバ。HIVの知識はそれなりにある。
最近彼氏ができたので、身の潔白を証明しようと検査にきた。
でも、過去の検査でもずっと大丈夫だったから、何となく今回も大丈夫かな？と希望的観測をしている。

「最近彼氏ができたので検査を受けにきました。もう5回目です。」と話しはじめて「HIVって増えているんですか？」と聞き始める。

実際は、最近パートナーができたが、
彼氏ができたから浮気はやめようと思っているが、
なかなか実行できない。
しかも、彼氏は自分のことを信頼していて
コンドームを使っていないから、
本当のところは心配。
今さらゴムを使おうとも言えないし。
このままじゃダメだと思うけど...自分は
どちらかというともゴムを使いたくない方かな...
とも思っている。



検査場での相談事例 PART2

20代大学生。ゲイ男性。躊躇なくゲイといえる。
自分がしている行為についても、話すことは構わない。
セックスポジションはリバ。HIVの知識はそれなりにある。
最近彼氏ができたので、身の潔白を証明しようと検査にきた。
でも、過去の検査でもずっと大丈夫だったから、何となく今回も大丈夫かな？と希望的観測をしている。

「最近彼氏ができたので検査を受けにきました。もう5回目です。」と話しはじめて「HIVって増えているんですか？」と聞き始める。

実際は、最近パートナーができたが、
彼氏ができたから浮気はやめようと思っているが、
なかなか実行できない。
しかも、彼氏は自分のことを信頼していて
コンドームを使っていないから、
本当のところは心配。
今さらゴムを使おうとも言えないし。
このままじゃダメだと思うけど...自分は
どちらかというともゴムを使いたくない方かな...
とも思っている。



HIV感染症及びSTIの予防とは

1次予防：病気にならない。偏見を持たせない。

- ・ 性感染症ではワクチン接種ができるものもある
- ・ 学校や地域社会、家庭での教育（偏見をなくすこと）
- ・ 地域でセクシュアルヘルスの規範を構築していく

2次予防：感染していたら早くわかる。そして治療を受けられる。

- ・ 検査機会の多様化、アクセスしやすい環境
- ・ 早期診断、早期治療（必要な制度が活用できる地域）
- ・ 医療職者対象の教育（検査担当者、性感染症医・泌尿器科・皮膚科・内科等の医師および看護師）

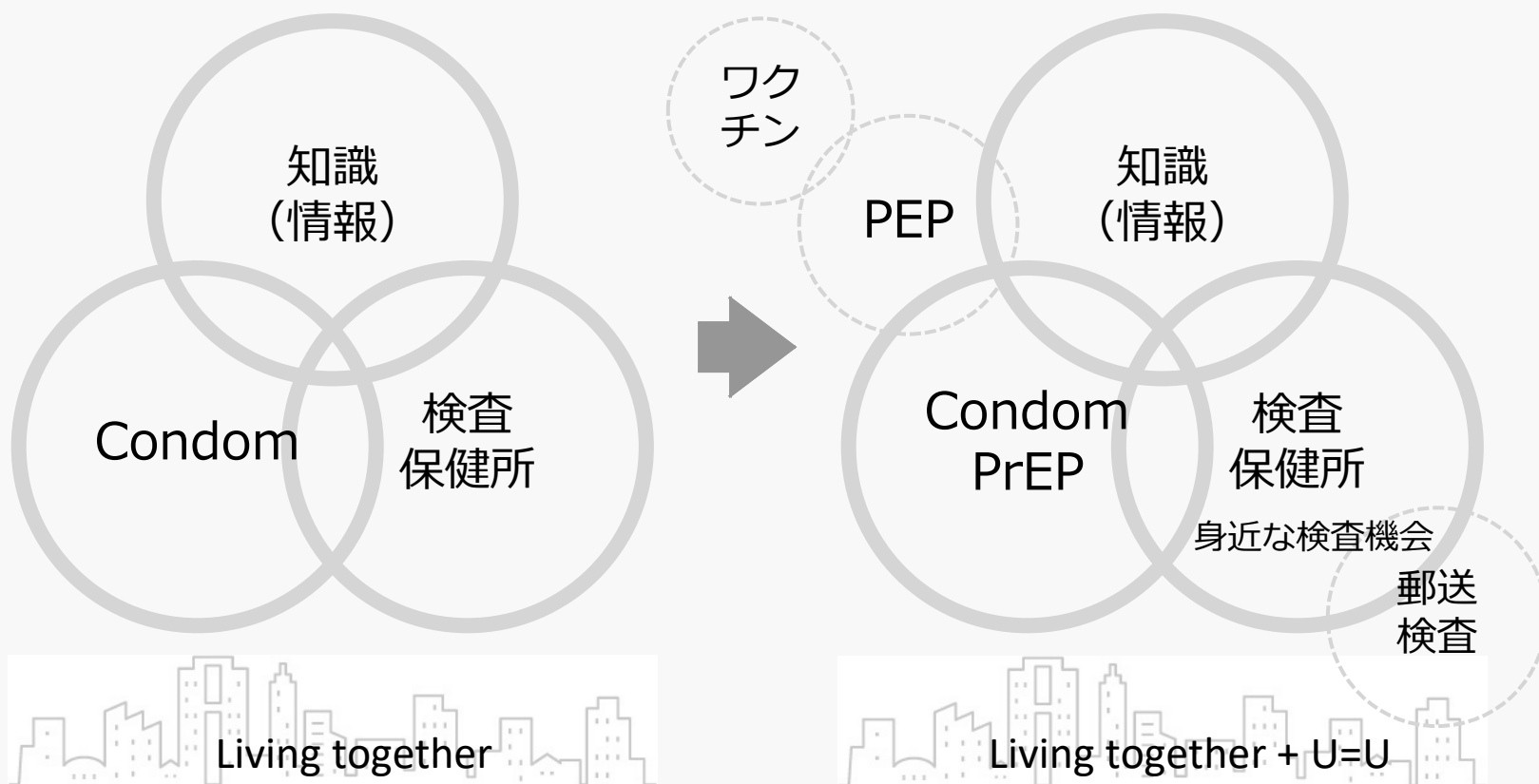
3次予防：感染していても地域で生活を送ることができる。

- ・ 悪化（重症化）の防止、重複感染の予防
- ・ 治療効果の維持（☞服薬アドヒアランス：周囲の人の理解）
- ・ 医療職者対象の教育（歯科診療・透析診療の整備、介護士等）



これからの対策
に必要な視点は？

WHOが提唱するコンビネーション予防は日本では目新しいものではなく、数種類の対策を平行して進めることが重要なのだが、日本で当事者が容易に使える手段は少ない。



PrEP導入を踏まえた日本におけるコンビネーションHIV予防の普及に関して、ウィズコロナ時代に対応した取り組みを事前に討議しておく必要がある。

検査→治療→継続 そのすべてを90%以上の人に

90-90-90
95-95-95

- 3つの90は世界が約束した共通目標で、2020年までに目標達成を目指しています。
 - 検査：HIVに感染している人の90%が検査で自らの感染を知る。
 - 治療：感染を知った人の90%がHIV治療を受けられるようになる。
 - 継続：その90%が治療により体内のウイルス量を低く抑えた状態を維持する。
- 3つの90が実現すれば、 $90\% \times 90\% \times 90\%$ で陽性者の73%がU=Uとなり、世界の年間新規感染者数は、4分の1の50万人以下に減る。
- ただし、国連推計では2017年現在 75%-79%-80%ぐらいで、検出限界以下となっている人は全体の半数以下（48%）にとどまっている。
- 現在では95-95-95に。

ウイルス量が検出限界値以下なら感染はしません

U=U

- 体の中でHIVというウイルスが増えるのを防ぐ治療（抗レトロウイルス治療）を続けていれば、体内のウイルスの量を現在の検査方法では見つけられないほど減らすことができる。
- 英語ではそれをUndetectable（検出限界値以下）と呼んでいる。頭文字はU。
- その結果、HIVに感染していても健康な状態で生活をすることができ、同時にセックスで他の人にHIVが感染することもなくなる。その事実が最近の数々の研究で明らかに。
- つまり、感染が可能ではなくなるという意味からUntransmittableと呼ばれている。こちらも頭文字はU。
- 治療の進歩が感染の予防にも役立つ。U=Uはそれを伝える重要なメッセージ。

感染のリスクが高い人は 治療薬で予防ができる

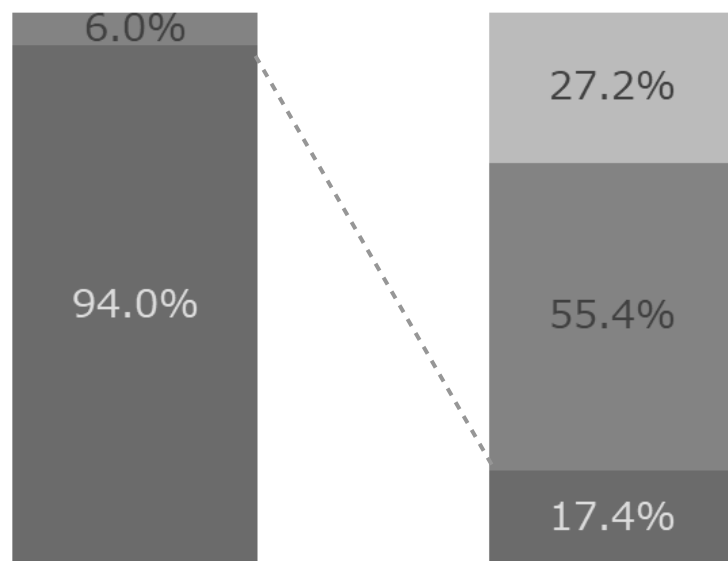
PrEP

- 曝露前予防（PrEP）はHIVに感染していない人が治療薬で感染を防ぐ方法です。
- ただし、対象はHIV陰性で、HIV性感染などのリスクが極めて高い人に限られているので、この点がHIV陽性者の体内のウイルス量を低く抑えることを目指すU=Uとは異なる。
- 国際的に見ると、米国や英国で研究の積み重ねにより、高い予防効果が報告され、アジアでも予防対策として導入する動きが広がっている。
- 日本でもMSM層*などでPrEPを利用する人はすでに存在し、厚労省の研究班などで支援の必要性を含めた対応が試行的に進められているが、利用できるのは収入が一定以上ある人に限られている。

過去6ヶ月間のPrEP服用経験別 知識と使用意図

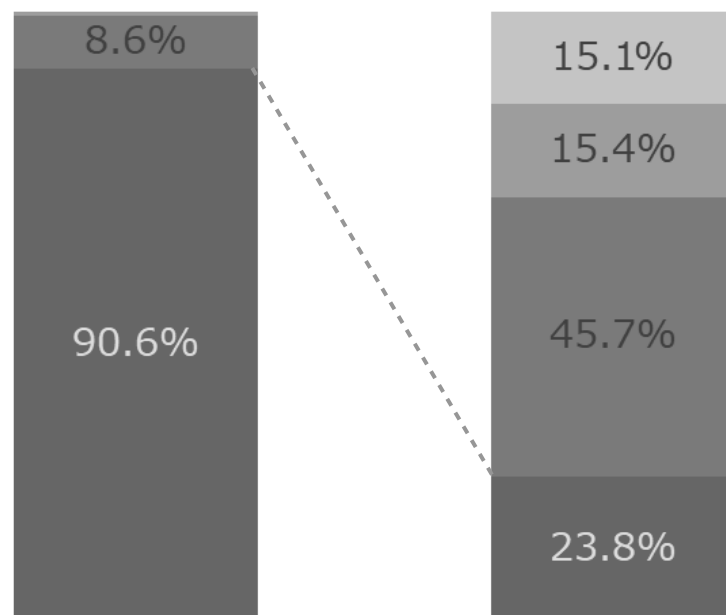
PrEPについての知識

- まったく知らない
- 具体的には知らないが、聞いたことはある
- とてもよく知っている



PrEPの使用意図

- 服薬したい
- どちらかといえば、服薬したい
- どちらかといえば、服薬したくない
- 服薬したくない



ある (n267)

ない (n3309)

ある (n267)

ない (n3309)

PrEP（プレップ）でHIVを99%防げる

- PrEP（プレップ）とは「Pre-exposure prophylaxis（曝露前予防内服）」の略で、簡単にいうと“HIVにかかる前の予防法”のこと。
- そしてPrEPは“予防法の名前”で、実際には「ツルバダ」または「デシコビ」という薬を飲むことになる。現在PrEPとして認められている薬は2種類のみ。
- このツルバダを1日1錠、一定期間飲み続けることで、HIVの感染を約99%防げることが研究で分かっている。
- 英ロンドンの性感染症クリニックでは、PrEP導入後にHIVの新規感染者数が80%以上も減ったというデータがある。

PrEPの使用方法とは？

- PrEPの使用方法は簡単で、ツルバダを毎日1錠飲むだけ。
- PrEPによってHIV感染はほぼ防げるが、ゴム無しでセックスした場合、HIV以外の性感染症（梅毒、A/B型肝炎、淋菌、等）にかかってしまう可能性があるので注意。

PrEPとは？

- PrEPとはPre-exposure prophylaxis（曝露前予防内服）のこと。
- セックスをする前に「ツルバダ」という抗HIV薬を飲んで、HIV感染のリスクを大幅に軽減することができる予防方法。
- 毎日1錠飲む「デイリーPrEP」と、セックスの前後に合計4剤飲む「オンデマンドPrEP（ただし男性と性交渉をする男性限定）」の2種類のPrEPがあり、正しい服薬方法で90%以上の感染予防が可能とされている。



- PrEPはコンドームの代わりというわけではない。ツルバダはHIVを防げて、淋病や肝炎など、それ以外の性感染症は防ぐ効果はない。

相手に「依存」しないHIV予防

- コンドームはPrEPと違いHIV以外の性感染症も防げるが、使用はセックスをする相手がつけてくれるかに「依存」する。PrEPはコンドームの有無やパートナーの行動に頼ることなく、自分自身でHIVを予防できる手段だという。
- 「予防が相手に依存する人たちにとって、コンドームの使用は相手の協力性やどういう意識を持っているかで決まってしまう」
- 「自分の健康のためにコンドームを使う、PrEPを使う、あるいは感染のリスクが低い行動を選ぶ（ハームリダクション）など、一人一人が自分のために何をするのかという時代になってきているという気がします」
- 万が一、HIVに感染している人が服用すると、HIV治療に必要な有効成分が足りず、抗ウイルス薬に耐性を持ったHIVウイルスが体内に出現する可能性があり、結果的に、感染者としての治療を開始する際に治療の選択肢が狭まる可能性があります。

【性行為によるHIV感染リスクがある人への PrEP適応基準

- 治療を受けていない、または治療を受けているが HIV ウイルス量が検出可能（> 200 コピー/mL）な HIV陽性の決まったパートナーとのコンドームなしの肛門または膣性交* を少なくとも1回経験していること
- 任意のカジュアルな男性パートナーとの少なくとも1回のコンドームなしの肛門性交*
- セックスワーカーで少なくとも1回のコンドームなしの肛門または膣性交* があること
- 「ケムセックス」、「パーティーアンドプレイ（PnP）」、「キメセク」と呼ばれることもある性的な薬物使用を行ったエピソードが1回以上あること
- 直腸における淋病・クラミジア、また梅毒の1回以上の発症（PrEPのスクリーニングで診断されたSTIを含む）
- パートナーのHIVステータスが不明な場合、またはパートナーがHIV陽性で治療を受けていないか、治療を受けても検出可能なウイルス量（> 200 コピー/mL）であった場合に、コンドームがずれたり破れたりした肛門または膣性交* のエピソードが1回以上あること
- HIV陽性のパートナーとHIVウイルス量に関わらず、妊娠を目的とした計画的なコンドームなしの膣性交* のエピソードがあること

* 挿入型性交に関してはPrEPの有効性に関するデータはまだ乏しいが、HIV感染リスクが挿入型性交でなくなるわけではないため、受容型・挿入型を問わずにPrEPの適応とした。

検査場での相談事例 PART3

20代。MSM男性。躊躇なく男性とセックスしているといえるけどゲイではないと思っている。自分がしている行為については話すことは構わない。セックスポジションはリバ。HIVの知識はそれなりにある。最近セックスする機会が増えたので、検査にきた。でも、過去の検査でもずっと大丈夫だったから、何となく今回も大丈夫かな？と希望的観測をしている。

「検査は何度か受けたことがあります。」と話しはじめて「PrEPってHIVを予防できると聞いたんですけど？」と聞き始める。

セックスワークをバイトでしていて、オーナーに言われてきた。たまに、お客さんになんて言ったらいいかわからなくて、コンドームを使えないこともある。できれば自分の身を守るためにPrEPを使いたい。ただ、どこで購入すればいいのかわからないし、どうやって使えばいいのかわからない。どちらかというゴムを使いたいとは思っているけど、いつもうまくいくは限らないので諦めている面もある。



検査場での相談事例 PART3

20代。MSM男性。躊躇なく男性とセックスしているといえるけどゲイではないと思っている。自分がしている行為については話すことは構わない。セックスポジションはリバ。HIVの知識はそれなりにある。最近セックスする機会が増えたので、検査にきた。でも、過去の検査でもずっと大丈夫だったから、何となく今回も大丈夫かな？と希望的観測をしている。

「検査は何度か受けたことがあります。」と話しはじめて「PrEPってHIVを予防できると聞いたんですけど？」と聞き始める。

セックスワークをバイトでしていて、オーナーに言われてきた。たまに、お客さんになんて言ったらいいかわからなくて、コンドームを使えないこともある。できれば自分の身を守るためにPrEPを使いたい。ただ、どこで購入すればいいのかわからないし、どうやって使えばいいのかわからない。どちらかというゴムを使いたいとは思っているけど、いつもうまくいくは限らないので諦めている面もある。





TEL : 06-6361-9300